

沖縄 21 世紀ビジョン基本計画等検証シートについて (9/12 更新)

## 沖縄21世紀ビジョン基本計画等検証シートについて

### 検証シートとは

検証シートは、施策展開に位置づけられた成果指標の動向に、政策ツールである予算事業や沖縄振興特別措置法に基づく税制、特例措置、配慮規定等がどのような影響を与えたか、外部環境などの背景や要因を分析することを目的に作成するものであり、総点検報告書素案第3章の審議の参考となる資料である。

### 検証シートを活用した審議の具体的な視点

- ・目標は達成されているのか？
- ・**目標が達成できていない理由は何か？** 取組不足？外部要因？
- ・これまでの取組は目標の達成にどの程度寄与していたのか？



# 検証シートの見方について①

## 沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり

成果指標					背景・要因の分析	
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況		
P355	1. しまくとぅばを挨拶程度以上、話す人の割合	82%	58%(H25)	49.8%(H30)	進展遅れ	(1)しまくとぅばを挨拶程度以上、話す人の割合 <b>【進展遅れ】</b> 「しまくとぅば」普及推進計画に基づき、「しまくとぅば普及センター」の設置運営のほか、県民大会・しまくとぅば語やびら大会を開催するなど、しまくとぅば普及人材の養成及び活用、しまくとぅばに触れる環境の整備等の取り組みを行ってきたが、特に若年層において、しまくとぅばを挨拶程度以上話す人の割合は伸び悩んでいることから、進展が遅れている。
記載なし	2. 文化財の指定件数	1,450件	1,345件(H23)	1,413件(H30)	進展	
	3. 史跡等への訪問者数	390万人/年	327.7万人/年(H22)	401.9万人/年(H30)	目標達成	
	4. 市町村文化協会会員数	20,000名	12,854名(H23)	15,295名(H30)	進展遅れ	
政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
P353	しまくとぅば普及センター(中核的機能)の設置・運営(H28~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金 207百万円 (166百万円)	普及の中核的機能を果たすしまくとぅば普及センターを運営する	【H30年度目標】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 64%	【H30年度実績】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 49.8%	進展遅れ
P353	しまくとぅば体験催しの創出(H25~H28) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金 156百万円 (124百万円)	「しまくとぅば県民大会」や「しまくとぅば語やびら大会」を開催し、しまくとぅばの普及推進を図る	【H30年度目標】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 64%	【H30年度実績】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 49.8%	進展遅れ
	しまくとぅば学習活動の支援(H24~R3) (教育庁)	—	高校において、授業や特別活動等の中で琉球語で書かれたテキストを教材とした学習活動を支援する	【H30年度目標】 学校設定科目実施校 10校	【H30年度実績】 学校設定科目実施校 7校	進展
	しまくとぅば活用連携協力事業(H24~R3) (教育庁)	—	小・中学校の学校教育において、地域の人材を活用したしまくとぅばに関する授業や講話会を実施する	【H30年度目標】 しまくとぅば読本利用率 ・小学校85% ・中学校85%	【H30年度実績】 しまくとぅば読本利用率 ・小学校85% ・中学校85%	
記載なし	地域の文化継承・発信支援事業(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業 57百万円	各地域の伝統行事・芸能等に関するシンポジウム及び地域の伝統芸能を集めた公演を開催する	【H30年度目標】 各地域でのシンポジウム等の開催 3回	【H30年度実績】 各地域でのシンポジウム等の開催 4回	達成

21世紀ビジョン基本計画において各施策展開ごとに設定した成果指標を記載

成果指標に関連する主な予算事業を記載

※全ての関連事業を記載しているわけではなく、予算の大きいものや成果指標達成への寄与度の高いものを中心に記載

各成果指標について、達成状況とその背景や要因を記載



記載内容を元に達成状況の検証や今後の課題等の洗い出しを実施

第2回文化観光スポーツ部会で審議いただく成果指標や事業・取組等は、赤線で囲って表示しております。

## 検証シートの見方について②

### 沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島			
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造			
施策展開番号・名称	1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり			
政策ツール				背景・要因の分析
<b>税制等</b>				
経減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況
<b>努力義務・配慮義務・特例措置</b>				
沖縄法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)		

施策展開に関連する沖縄振興特別措置法に基づく税制や努力義務、特例制度等を記載

## 成果指標及び予算事業に係る達成状況の評価基準について

### 成果指標に係る達成状況の評価基準

平成24年度から30年度までの成果指標の達成度(%)により評価

(算定式) 達成率 = (H○実績値 - 基準値) / (H33目標値 - 基準値)

(区分) 「目標達成」: 100%超      「達成見込」: 70%~100%未満

「進展」: 50%~70%未満      「進展遅れ」: 50%未満

### 予算事業に係る達成状況の評価基準

成果指標と同様に活動指標の進捗率(%)により評価

(算定式) 進捗率 = (評価年度実績値 - 基準値) / (評価年度目標値 - 基準値)

(区分) 「達成」: 90%超      「概ね達成」: 75%~90%未満

「進展」: 60%~75%未満      「進展遅れ」: 60%未満

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(1) 自然環境の保全・再生・適正利用
施策展開番号・名称	1-(1)- エ 自然環境の適正利用

成果指標					背景・要因の分析																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>目標値(R3年度)</th> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 事業者間における保全利用協定の認定数</td> <td>10協定</td> <td>2協定(H23)</td> <td>8協定(H30)</td> <td>達成見込</td> </tr> </tbody> </table>					成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	1. 事業者間における保全利用協定の認定数	10協定	2協定(H23)	8協定(H30)	達成見込	<p>(1)事業者間における保全利用協定の認定数</p> <p><b>【達成見込】</b></p> <p>保全利用協定について、普及啓発や適切な支援などを行った結果、成果目標の「事業者間における保全利用協定の認定数」は、基準値の2協定(H23)から8協定(H30)と改善され、H30計画値(8協定)を達成したことで、引き続きR3計画値(10協定)の達成も見込まれる。</p>										
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況																					
1. 事業者間における保全利用協定の認定数	10協定	2協定(H23)	8協定(H30)	達成見込																					
政策ツール																									
<p><b>主な予算事業</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業・取組(事業年度)</th> <th>事業の種別</th> <th>事業費(うち国費)</th> <th>事業の概要</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業者間による保全利用協定締結の促進(環境保全型自然体験活動推進事業)(H24~H26)(環境部)</td> <td>県事業 ソフト交付金</td> <td>51百万円 (41百万円)</td> <td>保全利用協定の新規締結地域の調査・検討及び協定締結のメリットを多角的に検討・企画する。</td> <td>【H30年度目標】 事業者間における保全利用協定の認定数(累計) 8協定</td> <td>【H30年度実績】 事業者間における保全利用協定の認定数(累計) 8協定</td> <td>順調</td> </tr> <tr> <td>環境共生型観光の推進(H26~H29)(文化観光スポーツ部)</td> <td>県・市町村</td> <td>145百万円 (116百万円)</td> <td>環境共生型観光の推進のため、市町村、地域の協議会等が行う自然環境等の保全に配慮した観光地づくりへの取組を支援することにより、沖縄観光の持続的発展を図る。</td> <td>【H30年度目標】 プロモーション支援 1件</td> <td>【H30年度実績】 プロモーション支援 1件</td> <td>順調</td> </tr> </tbody> </table>					事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	事業者間による保全利用協定締結の促進(環境保全型自然体験活動推進事業)(H24~H26)(環境部)	県事業 ソフト交付金	51百万円 (41百万円)	保全利用協定の新規締結地域の調査・検討及び協定締結のメリットを多角的に検討・企画する。	【H30年度目標】 事業者間における保全利用協定の認定数(累計) 8協定	【H30年度実績】 事業者間における保全利用協定の認定数(累計) 8協定	順調	環境共生型観光の推進(H26~H29)(文化観光スポーツ部)	県・市町村	145百万円 (116百万円)	環境共生型観光の推進のため、市町村、地域の協議会等が行う自然環境等の保全に配慮した観光地づくりへの取組を支援することにより、沖縄観光の持続的発展を図る。	【H30年度目標】 プロモーション支援 1件	【H30年度実績】 プロモーション支援 1件	順調
事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況																			
事業者間による保全利用協定締結の促進(環境保全型自然体験活動推進事業)(H24~H26)(環境部)	県事業 ソフト交付金	51百万円 (41百万円)	保全利用協定の新規締結地域の調査・検討及び協定締結のメリットを多角的に検討・企画する。	【H30年度目標】 事業者間における保全利用協定の認定数(累計) 8協定	【H30年度実績】 事業者間における保全利用協定の認定数(累計) 8協定	順調																			
環境共生型観光の推進(H26~H29)(文化観光スポーツ部)	県・市町村	145百万円 (116百万円)	環境共生型観光の推進のため、市町村、地域の協議会等が行う自然環境等の保全に配慮した観光地づくりへの取組を支援することにより、沖縄観光の持続的発展を図る。	【H30年度目標】 プロモーション支援 1件	【H30年度実績】 プロモーション支援 1件	順調																			

P355

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(1) 自然環境の保全・再生・適正利用
施策展開番号・名称	1-(1)- エ 自然環境の適正利用

政策ツール					背景・要因の分析
<b>税制等</b>					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24~29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
<b>努力義務・配慮義務・特例措置</b>					
沖縄法条文番号・見出し		実施主体	成果(例)		
第21条	環境保全型自然体験活動に係る保全利用協定	民間	事業者間における保全利用協定の認定数(累計) 8協定		

# 沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり

成果指標						背景・要因の分析
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況		
P355	1. しまくとぅばを挨拶程度以上、話す人の割合	82%	58%(H25)	49.8%(H30)	進展遅れ	<p>(1)しまくとぅばを挨拶程度以上、話す人の割合 【進展遅れ】 「しまくとぅば」普及推進計画に基づき、「しまくとぅば普及センター」の設置運営のほか、県民大会・しまくとぅば語やびら大会を開催するなど、しまくとぅば普及人材の養成及び活用、しまくとぅばに触れる環境の整備等の取り組みを行ってきたが、特に若年層において、しまくとぅばを挨拶程度以上話す人の割合は伸び悩んでいることから、進展が遅れている。</p>
	2. 文化財の指定件数	1,450件	1,345件(H23)	1,413件(H30)	進展	
	3. 史跡等への訪問者数	390万人/年	327.7万人/年(H22)	401.9万人/年(H30)	目標達成	
記載なし	4. 市町村文化協会会員数	20,000名	12,854名(H23)	15,295名(H30)	進展遅れ	
政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
P353	しまくとぅば普及センター(中核的機能)の設置・運営(H29～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金 207百万円 (166百万円)	普及の中核的機能を果たすしまくとぅば普及センターを運営する	【H30年度目標】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 64%	【H30年度実績】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 49.8%	進展遅れ
P353	しまくとぅば体験機会の創出(H25～H28) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金 156百万円 (124百万円)	「しまくとぅば県民大会」や「しまくとぅば語やびら大会」を開催し、しまくとぅばの普及推進を図る	【H30年度目標】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 64%	【H30年度実績】 しまくとぅばをあいさつ程度話せる人の割合 49.8%	進展遅れ
	しまくとぅば学習活動の支援(H24～R3) (教育庁)	—	高校において、授業や特別活動等の中で琉球諸言語で書かれたテキストを教材とした学習活動を支援する	【H30年度目標】 学校設定科目実施校 10校	【H30年度実績】 学校設定科目実施校 7校	進展
	しまくとぅば活用連携協力事業(H24～R3) (教育庁)	—	小・中学校の学校教育において、地域の人材を活用したしまくとぅばに関する授業や講話会等を実施する	【H30年度目標】 しまくとぅば読本活用率 ・小学校85% ・中学校85%	【H30年度】 しまくとぅば読本活用率 ・小学校85% ・中学校85%	
記載なし	地域の文化継承・発信支援事業(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業 57百万円	各地域の伝統行事・芸能等に関するシンポジウム及び地域の伝統芸能を集めた公演を開催する	【H30年度目標】 各地域でのシンポジウム等の開催 3回	【H30年度実績】 各地域でのシンポジウム等の開催 4回	達成

調整中  
(他部会)

調整中  
(他部会)

# 沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり

政策ツール							背景・要因の分析
<b>主な予算事業</b>							<b>(4)市町村文化協会会員数</b> <b>【進展遅れ】</b> 沖縄県文化協会と協会運営や各市町村会員数の増加に向けて意見交換を行うとともに、沖縄県文化協会理事会や総会等で検討した事項の情報の共有等に取り組んでいるものの、各市町村の会員の高齢化等で会員数については横ばい状態であり進展が遅れている。
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
県文化財保護審議会の開催(H24～R3) (教育庁)	県単事業	2百万円	沖縄県の文化財保護のため、文化財保護審議会を開催するとともに、専門部会において調査を行う	【H30年度目標】 文化財保護審議会の開催1回	【H30年度実績】 文化財保護審議会の開催2回	達成	
史跡等の整備(H24～R3) (教育庁)	各省計上	1,451百万円 (1,169百万円)	国指定・県指定の史跡・名勝の保存整備事業を実施する	【H30年度目標】 県及び市町村の史跡、名勝の整備:16件	【H30年度実績】 県及び市町村の史跡、名勝の整備:15件	達成	
島くとうば保存・継承の取り組み(H24～R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	80百万円 (49百万円)	島くとうばの継承発展に向けて、普及啓発等を行う	島くとうば小冊子の配布や活用率、HPでの公開等	【H24～H29年度】 達成市町村割合 71%	進展	
与那国島歴史文化交流支援事業(H25～H28) (与那国町)	市町村事業 ソフト交付金	316百万円 (253百万円)	与那国島に関する多種多様な資料を島内外へアピールすることを目的とした「与那国歴史・文化・交流資料館」を整備する	【H28年度目標】 「与那国島歴史・文化・交流資料館」の完成	【H28年度実績】 「与那国島歴史・文化・交流資料館」の完成	達成	
琉球政府文書デジタル・アーカイブズ推進事業(H25～R3) (総務部)	ソフト交付金	631百万円 (504百万円)	歴史資料である琉政文書をデジタル化しインターネットで公開する	【H30年度目標】 公開文書へのアクセス数:26,000アクセス	【H30年度実績】 公開文書へのアクセス数:24,267アクセス	達成	
在米沖縄関係資料収集公開事業(H29～R3) (総務部)	ソフト交付金	30百万円 (24百万円)	米国国立公文書館所蔵の戦後の米国統治に関する写真等を収集しインターネットで公開する	【H30年度目標】 写真・動画の収集6,300点	【H30年度実績】 写真・動画の収集6,314点	達成	

# 沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり

政策ツール					背景・要因の分析
<b>税制等</b>					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
<b>努力義務・配慮義務・特例措置</b>					
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)			

# 沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-イ 文化の担い手の育成

## 成果指標

P357

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 沖縄県芸術文化祭参加者数	10,000人	6,887人(H22)	8,090人(H30)	進展遅れ
2. 沖縄県高等学校総合文化祭、中学校総合文化祭等への参加者数	12,500人/年	11,600人/年(H23)	12,199人/年(H30)	進展
3. 伝承者養成・技術錬磨事業における伝承者養成数(累計)	15,301人	1,519人(H23)	11,194人(H30)	達成見込
4. 文化庁等提供事業芸術鑑賞児童生徒数	13,000人	11,834人(H23)	11,881人(H30)	進展遅れ
5. 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む)	65%	58%(H23)	67.3%(H30)	目標達成

P357

## 背景・要因の分析

(1)沖縄県芸術文化祭参加者数  
【進展遅れ】  
沖縄県芸術文化祭参加者数の増加への取組として、県内マスコミへの後援依頼、共催依頼を行ったほか、沖縄県立博物館・美術館の本展以外に東村及び恩納村での写真選抜展を行っている。また、新聞の掲載回数を増やしたこと等から、昨年度より本展等の参加者数が増加しており、進展は遅れているものの参加者は増加している。

## 政策ツール

### 主な予算事業

P356

事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
沖縄県芸術文化祭事業費(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	35百万円	沖縄県芸術文化祭を開催し、県民の多様な芸術文化活動を奨励するとともに鑑賞の機会を提供する	【H30年度目標】 沖縄県芸術文化祭の開催1回	【H30年度実績】 沖縄県芸術文化祭の開催1回	達成
青少年文化活動事業費(H24~R3) (教育庁)	県単事業	74百万円	本県の中学校や高校の総合文化祭への大会運営費補助や、高等学校文化連盟等が行う派遣費助成への補助を行う	【H30年度目標】 沖縄県高等学校総合文化祭、中学校総合文化祭等への参加者数12,000人	【H30年度実績】 沖縄県高等学校総合文化祭、中学校総合文化祭等への参加者数12,199人	達成
伝承者養成・技術錬磨事業(H24~R3) (教育庁)	県単事業	26百万円	各無形文化財保存会等が若手実演家・技術者を対象に行う実技研修等に補助を行う	【H30年度目標】 伝承者の養成数1,400人	【H30年度実績】 伝承者の養成数1,482人	達成
文化振興事業費(H24~R3) (教育庁)	県単事業	5百万円	県・文化庁・財団等が主催する芸術鑑賞機会提供事業を実施する	【H30年度目標】 鑑賞児童生徒数12,650人	【H30年度実績】 鑑賞児童生徒数11,881人	進展遅れ
教育研究事業費(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	1,149百万円	沖縄県立芸術大学における教育活動及び教員による研究活動を推進する	【H30年度目標】 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む)62.9%	【H30年度実績】 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む)67.3%	達成

P357

(2)沖縄県高等学校総合文化祭、中学校総合文化祭等への参加者数

調整中  
(他部会)

(3)伝承者養成・技術錬磨事業における伝承者養成数(累計)

調整中  
(他部会)

# 沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-イ 文化の担い手の育成

政策ツール							背景・要因の分析	
P357	<b>主な予算事業</b>						調整中 (他部会)	
	事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値		達成状況
	芸大就職キャリア支援事業(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	35百万円	芸術文化に特化・関連した職種・業種にターゲットを絞った求人開拓などの就職キャリア支援事業を実施する。	【H30年度目標】 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む) 62.9%	【H30年度実績】 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む) 67.3%		達成
デザイン・くくり担い手育成事業(H24～R3) (南風原町)	市町村事業 ソフト交付金	70百万円 (40百万円)	伝統工芸品である琉球絣の生産工程のひとつである「デザイン・くくり」の技術者を育成する	【H29年度目標】 デザインくくり技術者4名育成	【H29年度実績】 デザインくくり技術者4名技術取得	達成		
<b>税制等</b>							<b>(5)県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む)</b> <b>【目標達成】</b> 県立芸術大学において、芸術活動の継続を希望する卒業・終了生に対して、共同研究員などの大学のインキュベート機能を周知するなどの取組により、目標値(65%)を、2.3ポイント上回る67.3%となり目標を達成している。卒業生の主な就職先は、伝統工芸、伝統芸能方面のほか、広告、印刷、ウェブコンテンツ制作、演奏家、音響関係など学習した技術・技能を活かせる業種が中心となっている。	
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況				
<b>努力義務・配慮義務・特例措置</b>								
沖振法条文番号・見出し		実施主体	成果(例)					

# 沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ウ 文化活動を支える基盤の形成

成果指標						背景・要因の分析
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	<p>(1)県立博物館・美術館の入場者数  <b>【目標達成】</b>                      観光客を含む県内外から幅広く利用者を惹きつけるため、展覧会の内容の充実をはじめ、館内サインやHPの多言語化等、利便性向上や情報発信の強化に取り組んだ結果、展覧会入場者及びイベントへの入場者数は増加し、入館者数の目標値(R3年度)500,000人を達成している。</p> <p>(2)国立劇場おきなわの入場者数  <b>【進展遅れ】</b>                      台風等の影響により平成30年度の入場者数は伸び悩んだが、普及促進事業でのバス助成や学校でのワークショップ、県内おでかけ公演により、特に若い世代に沖縄の伝統芸能を身近に感じる機会を作ることによって国立劇場おきなわの認知度の強化を図っている。</p> <p>(3)県が支援した文化芸術関連イベントの来場者数  <b>【目標達成】</b>                      県内文化団体が行う持続的な文化芸術活動への支援や、(公財)沖縄県文化振興会が実施する沖縄県芸術文化祭・伝統芸能公演等への支援、文化団体が行う文化芸術関連イベントへの後援等を行った結果、着実に来場者数は増加しており目標値を達成している。</p>
P359	1. 県立博物館・美術館の入場者数	500,000人	452,502人(H22)	504,894人(H30)	目標達成	
P359	2. 国立劇場おきなわの入場者数	64,000人	62,497人(H23)	58,417人(H30)	進展遅れ	
P359	3. 県が支援した文化芸術関連イベントの来場者数	147,000人	149,527人(H23)	167,671人(H30)	目標達成	
記載なし	4. 県文化協会加入率	70.7%	63.4%(H23)	65.8%(H30)	進展遅れ	
政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
P358	博物館・美術館の管理運営 (H24～R3) (文化観光スポーツ部)	748百万円	博物館常設展示の魅力アップや沖縄美術史の認知度向上等、県民や観光客を惹きつける博物館・美術館作りに取り組む	【H30年度目標】 入館者数 474,000人	【H30年度実績】 入館者数 504,894人	達成
P358	伝統芸能公演への支援 (H24～R3) (文化観光スポーツ部)	260百万円	国立劇場おきなわと連携して、伝統芸能公演を開催し、若手実演家の育成を図る	【H30年度目標】 伝統芸能公演の開催件数 13件	【H30年度実績】 伝統芸能公演の開催件数 13件	達成
P358	沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業 (H24～R3) (文化観光スポーツ部)	899百万円 (719百万円)	文化芸術活動の持続的発展を図るため、地域の伝統芸能など文化芸術活動に対して補助を行う	【H30年度目標】 文化芸術活動数が前年度より増加した団体の割合 37.5%	【H30年度実績】 文化芸術活動数が前年度より増加した団体の割合 57.9%	達成
P358	沖縄県文化振興会への支援と連携(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	260百万円	(公財)沖縄県文化振興会が実施する文化事業等に対する補助を行う	【H30年度目標】 県が支援した文化芸術関連イベントの来場者数 147,758人	【H30年度実績】 県が支援した文化芸術関連イベントの来場者数 167,671人	達成
記載なし	地域の文化継承・発信支援事業(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	57百万円	各地域の伝統行事・芸能等に関するシンポジウム及び地域の伝統芸能を集めた公演を開催する	【H30年度目標】 各地域でのシンポジウム等の開催 3回	【H30年度実績】 各地域でのシンポジウム等の開催 4回	達成

# 沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ウ 文化活動を支える基盤の形成

## 政策ツール

### 主な予算事業

事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
生涯学習・文化振興拠点整備事業(H24～H28) (うるま市)	市町村事業 ソフト交付金	1,962百万円 (1,438百万円)	【H28年度目標】 文化振興及び生涯学習を 振興するための拠点施設 を整備する	【平成28年度実績】 生涯学習・文化振興拠点 施設の本体工事完成	生涯学習・文化振興拠点 施設の本体工事完成	達成

### (4)県文化協会加入率

#### 【進展遅れ】

国立劇場おきなわでの伝統芸能公演や各地域でのシンポジウム開催等、自らが住んでいる地域の文化についてさらに興味を持ってもらうとともに、沖縄県文化協会について周知を図ることで文化協会が未結成の市町村に対して発足を促しているものの、各地域の人手不足などにより進展が遅れている。

# 沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-ウ 文化活動を支える基盤の形成

政策ツール					背景・要因の分析
<b>税制等</b>					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
<b>努力義務・配慮義務・特例措置</b>					
沖縄法条文番号・見出し		実施主体	成果(例)		

# 沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-エ 文化の発信・交流

成果指標						背景・要因の分析																																											
記載なし 記載なし P360	<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>目標値(R3年度)</th> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 県が支援した文化交流イベントの来場者数</td> <td>40,000人</td> <td>14,960人(H23)</td> <td>34,419人(H30)</td> <td>達成見込</td> </tr> <tr> <td>2. 世界エイサー大会の来場者数</td> <td>6,000人</td> <td>64,900人(H23)</td> <td>1,500人(H30)</td> <td>進展遅れ</td> </tr> <tr> <td>3. 文化交流を目的に海外へ派遣した生徒数(累計)</td> <td>700人</td> <td>10人(H23)</td> <td>535人(H30)</td> <td>達成見込</td> </tr> <tr> <td>4. 県外・海外からの空手関係者来訪数</td> <td>9,400人</td> <td>80人(H24)</td> <td>7,169人(H30)</td> <td>達成見込</td> </tr> </tbody> </table>					成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	1. 県が支援した文化交流イベントの来場者数	40,000人	14,960人(H23)	34,419人(H30)	達成見込	2. 世界エイサー大会の来場者数	6,000人	64,900人(H23)	1,500人(H30)	進展遅れ	3. 文化交流を目的に海外へ派遣した生徒数(累計)	700人	10人(H23)	535人(H30)	達成見込	4. 県外・海外からの空手関係者来訪数	9,400人	80人(H24)	7,169人(H30)	達成見込	<p>(1)県が支援した文化交流イベントの来場者数 【達成見込】 沖縄芸能などを通じて文化関連団体が行う県外・海外との交流を図るための取組に対する支援や、音楽イベントやエイサーを通じた県外、海外との文化交流イベントへの後援など側面的な支援を行った結果、目標値を達成する見込みである。</p> <p>(2)世界エイサー大会の来場者数 【進展遅れ】 平成25年度から民間主導型へ移行し、県は、大会開催にあたり、事業の共催や実行委員として運営に関わるなどの側面的支援を行うとともに、コンテスト形式(競技)から交流会形式に変更したことなどから来場者数が減となり、進展が遅れているものの、エイサー等を通じた体験型文化交流に繋がっている。</p> <p>(3)文化交流を目的に海外へ派遣した生徒数(累計)</p>																		
	成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況																																												
	1. 県が支援した文化交流イベントの来場者数	40,000人	14,960人(H23)	34,419人(H30)	達成見込																																												
	2. 世界エイサー大会の来場者数	6,000人	64,900人(H23)	1,500人(H30)	進展遅れ																																												
	3. 文化交流を目的に海外へ派遣した生徒数(累計)	700人	10人(H23)	535人(H30)	達成見込																																												
4. 県外・海外からの空手関係者来訪数	9,400人	80人(H24)	7,169人(H30)	達成見込																																													
政策ツール																																																	
P360 記載なし	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">主な予算事業</th> </tr> <tr> <th>事業・取組(事業年度)</th> <th>事業の種類</th> <th>事業費(うち国費)</th> <th>事業の概要</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化観光戦略推進事業(H24~R3)(文化観光スポーツ部)</td> <td>県事業 ソフト交付金</td> <td>767百万円(613百万円)</td> <td>文化資源を活用した観光誘客を推進するため、沖縄文化の要素を取り入れた舞台公演及び沖縄の芸能全般に対する認知度向上に繋がる取組に対して補助を行う</td> <td>【H30年度目標】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 13.0%</td> <td>【H30年度実績】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 16.2%</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>世界エイサー大会開催支援事業(H24~R3)(文化観光スポーツ部)</td> <td>県事業</td> <td>97百万円</td> <td>県内外、海外のエイサー団体を集めた世界大会を民間主導で開催する</td> <td>【H30年度目標】 世界エイサー大会の来場者数 1,800人</td> <td>【H30年度実績】 世界エイサー大会の来場者数 1,500人</td> <td>概ね達成</td> </tr> <tr> <td>芸術文化国際交流(書道)(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3)(教育庁)</td> <td>県事業 ソフト交付金</td> <td>23百万円(18百万円)</td> <td>書道分野で活躍する高校生を台湾へ派遣し、文化交流を実施する</td> <td>【H30年度目標】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 80%以上</td> <td>【H30年度実績】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 95%</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>芸術文化国際交流(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3)(教育庁)</td> <td>県事業 ソフト交付金</td> <td>145百万円(116百万円)</td> <td>音楽、美術・工芸、郷土芸能の芸術分野で活躍する高校生をドイツ、台湾、アメリカ(ハワイ)へ派遣し、文化交流を実施する</td> <td>【H30年度目標】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 80%以上</td> <td>【H30年度実績】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 98%</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>						主な予算事業							事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	文化観光戦略推進事業(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	767百万円(613百万円)	文化資源を活用した観光誘客を推進するため、沖縄文化の要素を取り入れた舞台公演及び沖縄の芸能全般に対する認知度向上に繋がる取組に対して補助を行う	【H30年度目標】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 13.0%	【H30年度実績】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 16.2%	達成	世界エイサー大会開催支援事業(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県事業	97百万円	県内外、海外のエイサー団体を集めた世界大会を民間主導で開催する	【H30年度目標】 世界エイサー大会の来場者数 1,800人	【H30年度実績】 世界エイサー大会の来場者数 1,500人	概ね達成	芸術文化国際交流(書道)(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3)(教育庁)	県事業 ソフト交付金	23百万円(18百万円)	書道分野で活躍する高校生を台湾へ派遣し、文化交流を実施する	【H30年度目標】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 80%以上	【H30年度実績】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 95%	達成	芸術文化国際交流(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3)(教育庁)	県事業 ソフト交付金	145百万円(116百万円)	音楽、美術・工芸、郷土芸能の芸術分野で活躍する高校生をドイツ、台湾、アメリカ(ハワイ)へ派遣し、文化交流を実施する	【H30年度目標】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 80%以上	【H30年度実績】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 98%	達成	調整中(他部会)
	主な予算事業																																																
	事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況																																										
	文化観光戦略推進事業(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	767百万円(613百万円)	文化資源を活用した観光誘客を推進するため、沖縄文化の要素を取り入れた舞台公演及び沖縄の芸能全般に対する認知度向上に繋がる取組に対して補助を行う	【H30年度目標】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 13.0%	【H30年度実績】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 16.2%	達成																																										
	世界エイサー大会開催支援事業(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県事業	97百万円	県内外、海外のエイサー団体を集めた世界大会を民間主導で開催する	【H30年度目標】 世界エイサー大会の来場者数 1,800人	【H30年度実績】 世界エイサー大会の来場者数 1,500人	概ね達成																																										
芸術文化国際交流(書道)(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3)(教育庁)	県事業 ソフト交付金	23百万円(18百万円)	書道分野で活躍する高校生を台湾へ派遣し、文化交流を実施する	【H30年度目標】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 80%以上	【H30年度実績】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 95%	達成																																											
芸術文化国際交流(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3)(教育庁)	県事業 ソフト交付金	145百万円(116百万円)	音楽、美術・工芸、郷土芸能の芸術分野で活躍する高校生をドイツ、台湾、アメリカ(ハワイ)へ派遣し、文化交流を実施する	【H30年度目標】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 80%以上	【H30年度実績】 帰国後、海外の大学への進学や留学に興味を持った(とアンケートで回答した)割合 98%	達成																																											

# 沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(4) 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造
施策展開番号・名称	1-(4)-エ 文化の発信・交流

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

P360

主な予算事業							(4)県外・海外からの空手関係者来訪数 <b>【達成見込】</b> 沖縄空手を振興するため、沖縄空手振興ビジョン及び同ロードマップの策定、空手関係イベント及び国際大会の開催、沖縄空手会館を拠点とした利活用事業等を展開することで、県外・海外からの空手関係者の来訪に繋がっている。
事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
沖縄空手の振興 (H25～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	578百万 (462百万円)	国際セミナーの開催や指導者の海外派遣等を実施し、沖縄空手の普及・啓発並びに世界の空手愛好家の来訪促進、指導者・後継者の育成を図る	【H30年度目標】 県外・海外からの空手関係者来訪数 6,900人	【H30年度実績】 県外・海外からの空手関係者来訪数 7,169人	達成	
伝統行事・イベントへの支援(H24～R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	521百万円 (293百万円)	各市町村において、伝統文化の継承と観光客誘客を図るため、各種伝統行事やイベントへ支援を行う	行事・イベントへの来場者数等	【平成24～平成29年度】 達成市町村割合 87%	概ね達成	

税制等				
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況

努力義務・配慮義務・特例措置		
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)

# 沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島
基本施策番号・名称	1-(5) 文化産業の戦略的な創出・育成
施策展開番号・名称	1-(5)-ア 文化資源を活用したまちづくり

成果指標						背景・要因の分析			
		成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況			
P364	1.	伝統行事の伝承・復元等に関する公演等の入場者数(累計)	6,021人	0人(H23)	5,258人(H30)	達成見込			
P364	2.	県が支援した市町村主催の文化芸術関連イベントの来場者数	13,000人/年	521人/年(H23)	15,375人/年(H30)	目標達成			
政策ツール						<p>(1)伝統行事の伝承・復元等に関する公演等の入場者数(累計) 【達成見込】 地域の伝統芸能を集めた「特選沖縄の伝統芸能」公演及び各地域におけるシンポジウムについて積極的な広報活動に取り組んだことから、R3年度の目標値は達成する見込み。</p> <p>(2)県が支援した市町村主催の文化芸術関連イベントの来場者数 【目標達成】 市町村が実施する文化芸術関連イベントへの補助事業の実施や後援等の取組により、来場者数は増加しており、目標値を達成している。</p>			
主な予算事業									
		事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要		目標値	実績値	達成状況
P363		地域の伝統行事の保存継承や活用を図る取組(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県単事業	57百万円	地域の伝統芸能を集めた公演、及び各地域の伝統行事・芸能等をテーマに文化講演(シンポジウム等)を開催する		【H30年度目標】 地域の伝統芸能を集めた公演 1回	【H30年度実績】 地域の伝統芸能を集めた公演 1回	達成
P363		文化情報等プラットフォーム形成推進事業(H29~R1)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	25百万円 (20百万円)	文化資源を活用した観光誘客を推進するため、県内各地に受け継がれている伝統行事や地域芸能などのイベント情報を一元化したポータルサイトを構築し、情報発信を行う		【H30年度目標】 サイトのアクセス件数 30,000件/年	【H30年度実績】 サイトのアクセス件数 35,637件/年	達成
		古民家の保全・継承(H25~R3)(土木建築部)	内閣府計上	10百万円 (5百万円)	地域に根付いた古民家を保存・活用し、地域の活性化を図るため、シンポジウムを行い景観の保全に資する取り組みの普及・促進を行う	【H30年度目標】 シンポジウムの開催 1回	【H30年度実績】 シンポジウムの開催 1回		
		文化財の保存及び文化財周辺の整備(H24~R3)(複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	588百万円 (471百万円)	文化財を保存するとともに、文化財を観光資源として活用するための周辺整備を行う	文化財保存のための調査及び整備、文化財の説明板設置や散策道等の整備等	【H24~H29年度実績】 達成市町村割合100%	達成	

# 沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(5) 文化産業の戦略的な創出・育成
施策展開番号・名称	1-(5)-ア 文化資源を活用したまちづくり

政策ツール					背景・要因の分析
<b>税制等</b>					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
<b>努力義務・配慮義務・特例措置</b>					
沖振法条文番号・見出し		実施主体	成果(例)		

# 沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(5) 文化産業の戦略的な創出・育成
施策展開番号・名称	1-(5)-ウ 文化コンテンツ産業の振興

成果指標						背景・要因の分析
P366 記載なし P366 記載なし	成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	<p>(1)文化コンテンツ関連産業事業所数 【目標達成】 沖縄文化等を活用したコンテンツ制作に対する投資ファンドを創設し、制作費用に対する資金面への支援や、制作段階に応じたハンズオン支援を行った結果、コンテンツ制作のノウハウが蓄積されたほか、プロデューサー等の人材育成や、文化等を活用したコンテンツの創出等が図られ、県内の文化観光コンテンツ関連産業事業所数は平成28年度に261事業所となっており、目標値を達成している。</p> <p>(2)県が支援したビジネスの事業化件数(累計) 【進展】 文化芸術活動の持続的発展に資する取組を県内文化団体から公募し、文化資源を活用したビジネス展開に繋がる取組等の支援件数は累計で21件となっており、R3年度の目標値に向けて進展している。</p>
	1. 文化コンテンツ関連産業事業所数	258事業所	257事業所(H21)	261事業所(H28)	目標達成	
	2. 県が支援したビジネスの事業化件数(累計)	30件	3件(H23)	21件(H30)	進展	
	3. 観光客の「文化観光」の比率	30%	10.8%(H24)	11.8%(H29)	進展遅れ	
	4. 観光客の「娯楽・入場費」の消費単価	9,000円	7,831円(H22)	6,485円(H29)	進展遅れ	
政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
P366 文化資源を活用した新事業の創出(H25～R3)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	899百万円(719百万円)	文化資源を活用したコンテンツ及びビジネスの創造を図るため、県内事業者による文化資源を活用した新たな事業展開を支援する	【H30年度目標】 文化芸術活動数が前年度より増加した団体の割合 37.5%	【H30年度実績】 文化芸術活動数が前年度より増加した団体の割合 57.9%	達成
P366 沖縄文化等コンテンツ産業創出支援事業(H24～H29)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	187百万円(149百万円)	投資ファンドによるコンテンツ制作資金の供給及び制作段階に応じたハンズオン支援を行う	【H29年度目標】 有望なコンテンツの創出、プロデューサーの育成	【H29年度実績】 プロデューサーの育成 15名	達成
P366 アーツマネージャー育成事業(H25～H29)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	126百万円(97百万円)	文化芸術に係るマネジメントに関する座学及び県内外の文化関連企業等へのOJT派遣を実施する	【H29年度目標】 県外文化芸術関係機関等への派遣人数 2名程度	【H29年度実績】 県外文化芸術関係機関等への派遣人数 2名	達成
P365 P366 文化観光戦略推進事業(H24～R3)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	767百万円(613百万円)	文化資源を活用した観光誘客を推進するため、沖縄文化の要素を取り入れた舞台公演及び沖縄の芸能全般に対する認知度向上に繋がる取組に対して補助を行う	【H30年度目標】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 13.0%	【H30年度実績】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 16.2%	達成

# 沖縄振興計画 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(5) 文化産業の戦略的な創出・育成
施策展開番号・名称	1-(5)-ウ 文化コンテンツ産業の振興

政策ツール					背景・要因の分析										
<b>税制等</b> <table border="1" data-bbox="125 411 1720 571"> <thead> <tr> <th>軽減措置の名称(対象年度)</th> <th>適用数量・金額 (24～29年度)</th> <th>目標値(33年度)</th> <th>実績値(29年度)</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>					軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況						<p>(3)観光客の「文化観光」の比率 【進展遅れ】 沖縄の文化・芸能を活用した観光コンテンツのプロモーションを行うとともに、国内外の旅行情報発信サイトやSNS、旅行代理店等との連携、外国人観光客に向けた舞台公演ガイドの多言語化を実施するなど、情報発信することで、舞台公演の鑑賞に繋がる取組を行った結果、アジア地域を中心に、外国人観光客数は増加傾向にあるものの、文化観光が十分認知されていない傾向にあることから、進展が遅れている。</p> <p>(4)観光客の「娯楽・入場費」の消費単価 【進展遅れ】 沖縄の文化・芸能を活用した観光コンテンツのプロモーションを行うなど、県内で実施する舞台公演の鑑賞環境を整えるなどの取組を行っているものの、「文化観光」が沖縄の観光メニューのひとつとして十分に認知されていない傾向にあることから、進展が遅れている。</p>
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況											
<b>努力義務・配慮義務・特例措置</b> <table border="1" data-bbox="125 715 1720 986"> <thead> <tr> <th>沖振法条文番号・見出し</th> <th>実施主体</th> <th>成果(例)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>					沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)								
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)													

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	I 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(1) 健康・長寿おきなわの推進
施策展開番号・名称	2-(1)-イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成

成果指標						背景・要因の分析	
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況			
P381	1. スポーツ実施率(成人、週1回以上)	65%	39%(H24)	41.4%(H30)	進展遅れ	<p>(1)スポーツ実施率(成人、週1回以上)  <b>【進展遅れ】</b>                      スポレク祭の参加者は8年ぶりに1万人台を達成し、県事業による教室終了後もスポーツを継続する意思がある参加者は80%を超えるなど、生涯スポーツの振興に一定の成果を上げている。しかし、20代から40代の若い世代のスポーツ実施率が低く、また、運動をする人と全くしない人が二極化している現状もあり、進展遅れとなっている。</p>	
P381	2. 国民体育大会総合順位	30位台前半	40位台	43位(H30)	進展遅れ		
P381	3. スポーツコンベンションの県内参加者数	102,000人	66,739人(H22)	104,473人(H29)	目標達成		
	4. 運動等の目的で利用できる都市公園(運動公園、総合公園等)の面積(1人あたり)	6.5㎡	6.0㎡(H22)	6.1㎡(H29)	進展遅れ		
P381	5. 県立社会体育施設の利用者数(奥武山総合運動場のみ)	平均稼働率:84% 770,000人	平均稼働率:68% 472,000人(H23)	平均稼働率:73% 647,000人(H30)	進展		
政策ツール							
主な予算事業							
事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
記載なし	社会体育活動支援事業(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県単事業	27百万円	沖縄県スポーツ・レクリエーション祭の開催及び県立学校体育施設開放事業を実施する	【H30年度目標】 スポレク祭参加者数 10,000人	【H30年度実績】 スポレク祭参加者数 10,193人	達成
記載なし	地域スポーツ活動・健康力向上事業(H26~R1)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	128百万円	総合型地域スポーツクラブに対する支援強化を実施するとともに、認知度向上を図り、地域住民のスポーツ活動を通じた県民の健康に資する	【H30年度目標】 総合型地域スポーツクラブの認知度 26.5% 健康・スポーツ教室の取組終了後も運動・スポーツを継続して実施する意思がある参加者の割合 80%	【H30年度実績】 総合型地域スポーツクラブの認知度 18.7% 健康・スポーツ教室の取組終了後も運動・スポーツを継続して実施する意思がある参加者の割合 83.3%	概ね達成
記載なし	沖縄県体育協会活動費補助(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県単事業	615百万円	県内競技団体を統轄する公益財団法人沖縄県体育協会の運営を支援する	【H30年度目標】 県民体育大会参加人数 9,600人	【H30年度実績】 県民体育大会参加人数 9,675人	達成
P380	競技力向上対策事業費(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県単事業	373百万円	各競技団体の主体性を活かした企画提案型競技力向上対策等の各種対策を行う	【H30年度目標】 国民体育大会強化選手数 846名	【H30年度実績】 国民体育大会強化選手数 846名	達成
P380	スポーツコンベンション誘致事業(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県単事業	40百万円	国内外からのスポーツコンベンションの誘致を図るため、情報の発信や各種スポーツコンベンションの歓迎支援策等を実施する	【H30年度目標】 歓迎支援件数 45件	【H30年度実績】 歓迎支援件数 45件	達成
						<p>(2)国民体育大会総合順位  <b>【進展遅れ】</b>                      競技力向上対策事業において、トップレベル選手育成、指導者対策、ジュニア強化対策を実施した結果、国民体育大会において、毎年優勝する選手やチームが出ており、一定程度競技力向上は図られてきているものの、点数獲得ができていない競技においては、指導者の養成・確保や、一貫した指導体制の導入が遅れているとみられ、国体総合順位は低迷している。</p> <p>(3)スポーツコンベンションの県内参加者数  <b>【目標達成】</b>                      スポーツコミッション沖縄を設置し、市町村や各種競技団体等と連携した広報活動、歓迎式開催、特産品贈呈等に取り組んだ結果、スポーツコンベンションの県内参加者数は増加しており、目標を達成する見込みとなっている。</p>	

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	I 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(1) 健康・長寿おきなわの推進
施策展開番号・名称	2-(1)-イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成

政策ツール							背景・要因の分析	
<b>主な予算事業</b>							<p>(4)運動等の目的で利用できる都市公園(運動公園、総合公園等)の面積(1人あたり)  <b>【進展遅れ】</b>                      都市基幹公園、大規模公園等において用地買収や園路、広場の整備を行っているが、公園用地の取得に長期間を要し、直近の実績値は目標値を下回っている。R3年度まで供用開始面積が計画どおりに進捗した場合も、人口増加が大きいため進展遅れとなる見込。</p> <p><b>(5)県立社会体育施設の利用者数(奥武山総合運動場のみ)</b>  <b>【進展】</b>                      台風によるイベントの中止や施設閉鎖の影響等もあり、R3年度目標値の8割に留まっているものの、指定管理者と連携し、利用者のニーズに沿った施設の修繕や備品整備及び指定管理者によるヨガ教室や子ども体操教室等の自主事業を推進したことにより、利用者数は増加傾向である。</p>	
P380	スポーツ観光誘客促進事業(H25～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	758百万円 (606百万円)	スポーツを通じた観光誘客を推進するため、マロン大会やサイクリングイベントにおけるブース出展など、沖縄へのスポーツ旅行に係るプロモーションを行う	【H30年度目標】 ・国内観光客数 693万人 ・外国人観光客数 163百万人	【H30年度実績】 ・国内観光客数 700万人 ・外国人観光客数 300万人		達成
P380	スポーツツーリズム戦略推進事業(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	618百万円 (494百万円)	スポーツを通じた観光誘客を推進するため、県内におけるスポーツイベントの創出及び定着化に向けた補助を行うとともに、沖縄で開催される国際スポーツ大会等への補助を行う	【H30年度目標】 スポーツイベント開催件数 3件	【H30年度】 スポーツイベント開催件数 4件		達成
P380	スポーツコミッション沖縄体制整備事業(H25～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	274百万円 (219百万円)	沖縄県体育協会に設置した「スポーツコミッション沖縄」においてスポーツコンベンション実施に係る各種相談対応及び誘致活動等を実施する	【H30年度目標】 競技連盟(各国代表クラス)の合宿件数 26件(うち日本18件、日本以外8件)	【H30年度実績】 【H30年度】 競技連盟(各国代表クラス)の合宿件数 28件		達成
	都市基幹公園等の整備(H24～R3) (土木建築部)	県・市町村 内閣府計上 ハード交付金	13,113百万円 (6,557百万円)	生涯スポーツ・競技スポーツの振興及びスポーツコンベンションを推進するためスポーツやレクリエーション活動の場として利用できる総合公園・運動公園等の整備を行う	【H30年度目標】 整備率 70.9%	【H30年度実績】 整備率 70.5%		達成
記載なし	社会体育施設管理運営費(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	1,314百万円	指定管理制度を活用し、奥武山総合運動場(公の施設)の適切な整備・充実及び管理・運営を行う	【H30年度目標】 県立社会体育施設の利用者数 695,000人	【H30年度実績】 県立社会体育施設の利用者数 647,000人		概ね達成
	真喜屋運動広場整備事業(H25～H29) (恩納村)	市町村事業 ソフト交付金	459百万円 (367百万円)	真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、多目的広場としての利用環境を改善する	【H29年度目標】 真喜屋運動広場工事の完了	【H29年度実績】 真喜屋運動広場工事の完了		達成

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	I 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
基本施策番号・名称	2-(1) 健康・長寿おきなわの推進
施策展開番号・名称	2-(1)-イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成

政策ツール					背景・要因の分析
<b>税制等</b>					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
<b>努力義務・配慮義務・特例措置</b>					
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)			

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート（観光誘客）

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備
施策展開番号・名称	3-(1)-エ 国際ネットワークの構築、移動・輸送コストの低減及び物流対策強化

成果指標	背景・要因の分析
------	----------

P441

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 那覇空港の国際路線数(就航都市数)	15路線	7路線(H24)	15路線(H30)	達成
2. 那覇空港の国際貨物取扱量	40万トン	15万トン(H22)	12万トン(H30)	進展遅れ
3. 那覇港の外貨取扱量	342万トン	120万トン(H23)	120.3万トン(H30)	進展遅れ

(1)那覇空港の国際路線数(就航都市数)  
**【達成】**  
 沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」のもと実施している官民一体となったプロモーションと支援の成果として、海外での沖縄の認知度が向上し、台湾や韓国等の東アジアに加え、タイやシンガポール等の東南アジアからの新規就航が実現し、目標達成に繋がっている。

政策ツール
-------

P440

主な予算事業						
事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
新規航空路線の就航促進(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	14,593百万円 (11,645百万円)	バンコクやシンガポールからの就航便に対する支援や海外からの新規航空便等の就航に向けた誘致活動を実施	【H30年度目標】 新規就航定期便等への支援 10件	【H30年度実績】 新規就航定期便等への支援 25件	達成
県外・国外の主要港とのネットワーク拡充(H24~R3)(土木、商工)	県事業 ソフト交付金	百万円 (百万円)	国内外主要港とのネットワーク拡充に係る調査及び新航路を誘致し、県産品の海外輸出に向けた実証事業を実施	【H30年度目標】	【H30年度実績】	
物流拠点化促進事業(中城湾港新港地区)(H28~R1)(土木建築部)	県事業 ソフト交付金	84百万円 (67百万円)	国内物流網の拡充を図るため、中城湾港における定期船就航実験を実施	京阪航路実証実験: 1回/週(年間51回)	京阪航路実証実験: 1回/週(年間31回)	進展
沖縄国際物流ハブ活用推進事業(H22~R3)(商工労働部)	県事業 ソフト交付金	3,171百万円 (2,536百万円)	国際航空貨物便就航地(アジア5都市)向けの貨物スペースを県が借上げて県内事業者へ提供	【H30年度目標】 ①航空コンテナスペース借上: 301台 ②県産品輸送量:469トン	【H30年度実績】 ①航空コンテナスペース借上: 1745台 ②県産品輸送量:479トン	達成
企業集積・定着促進事業(H24~R1)(商工労働部)	県単事業	273百万円 (百万円)	国際物流拠点産業集積地域に立地する企業の輸送費を支援する。	【H30年度】 輸送費の支援企業数 42件	【H30年度実績】 輸送費の支援企業数 26件	進展遅れ
農林水産物流通条件不利性解消事業(H24~R3)(農林水産部)	県事業 ソフト交付金	16,946百万円 (13,548百万円)	本土向けに出荷する農林水産物の輸送コストに対する補助を行った	【H30年度目標】 出荷団体の県外出荷量: 69,000トン	【H30年度実績】 出荷団体の県外出荷量: 65,100トン	概ね達成

(2)那覇空港の国際貨物取扱量  
調整中  
(他部会)

(3)那覇港の外貨取扱量  
**【進展遅れ】**  
調整中  
(他部会)

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート（観光誘客②）

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(1) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備
施策展開番号・名称	3-(1)-エ 国際ネットワークの構築、移動・輸送コストの低減及び物流対策強化

政策ツール	背景・要因の分析																					
<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>主な予算事業</b> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #f4a460;"> <th>事業名 (事業年度)</th> <th>事業の種別</th> <th>事業費 (うち国費)</th> <th>事業の概要</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #f4a460;"> <td>那覇港総合物流センター事業(H24～H30) (土木建築部)</td> <td>県事業 ソフト交付金</td> <td>5,939百万円 (4,751百万円)</td> <td>那覇港の国際流通港湾としての機能充実を図るため、那覇港国際物流センターを整備する。</td> <td>【H30年度目標】 総合物流センターの工事完了、供用開始</td> <td>【H30年度実績】 H30年12月:工事完了 H31年2月:引渡 R1年5月1日:開業</td> <td>達成</td> </tr> <tr style="background-color: #f4a460;"> <td>那覇港産業推進・防災事業(H25～R3) (土木建築部)</td> <td>県事業 ハード交付金</td> <td>782百万円 (0百万円)</td> <td>那覇港の機能維持・強化のために、旅客待合所、上屋等の耐震化や長寿命化対策等を実施した</td> <td>【H30年度目標】 船客待合所や上屋の耐震化、延命化等の実施</td> <td>【H30年度実績】 船客待合所、上屋の改修工事等:○箇所 ガントリークレーン延命化対策:○箇所</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>	事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	那覇港総合物流センター事業(H24～H30) (土木建築部)	県事業 ソフト交付金	5,939百万円 (4,751百万円)	那覇港の国際流通港湾としての機能充実を図るため、那覇港国際物流センターを整備する。	【H30年度目標】 総合物流センターの工事完了、供用開始	【H30年度実績】 H30年12月:工事完了 H31年2月:引渡 R1年5月1日:開業	達成	那覇港産業推進・防災事業(H25～R3) (土木建築部)	県事業 ハード交付金	782百万円 (0百万円)	那覇港の機能維持・強化のために、旅客待合所、上屋等の耐震化や長寿命化対策等を実施した	【H30年度目標】 船客待合所や上屋の耐震化、延命化等の実施	【H30年度実績】 船客待合所、上屋の改修工事等:○箇所 ガントリークレーン延命化対策:○箇所	達成	
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況																
那覇港総合物流センター事業(H24～H30) (土木建築部)	県事業 ソフト交付金	5,939百万円 (4,751百万円)	那覇港の国際流通港湾としての機能充実を図るため、那覇港国際物流センターを整備する。	【H30年度目標】 総合物流センターの工事完了、供用開始	【H30年度実績】 H30年12月:工事完了 H31年2月:引渡 R1年5月1日:開業	達成																
那覇港産業推進・防災事業(H25～R3) (土木建築部)	県事業 ハード交付金	782百万円 (0百万円)	那覇港の機能維持・強化のために、旅客待合所、上屋等の耐震化や長寿命化対策等を実施した	【H30年度目標】 船客待合所や上屋の耐震化、延命化等の実施	【H30年度実績】 船客待合所、上屋の改修工事等:○箇所 ガントリークレーン延命化対策:○箇所	達成																
<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>税制等</b> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #4caf50; color: white;"> <th>軽減措置の名称(対象年度)</th> <th>適用数量・金額 (24～29年度)</th> <th>目標値(33年度)</th> <th>実績値(29年度)</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #c8e6c9;"> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況																	
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況																		
<div style="background-color: #e0e0e0; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>努力義務・配慮義務・特例措置</b> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #f15a24; color: white;"> <th>沖振法条文番号・見出し</th> <th>実施主体</th> <th>成果(例)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #f15a24; height: 20px;"> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr style="background-color: #f15a24; height: 20px;"> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr style="background-color: #f15a24;"> <td>§ 52</td> <td>出入国等業務を機動的に行う体制の整備等(努力義務)</td> <td>                     国等 ・                      地方公共団体 ・                 </td> </tr> </tbody> </table>	沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)							§ 52	出入国等業務を機動的に行う体制の整備等(努力義務)	国等 ・ 地方公共団体 ・										
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)																				
§ 52	出入国等業務を機動的に行う体制の整備等(努力義務)	国等 ・ 地方公共団体 ・																				

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立

記載なし

P446

記載なし

記載なし

記載なし

P446

P446

記載なし

P445

記載なし

記載なし

成果指標						背景・要因の分析
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況		
1. 旅行中に行った活動(エコツアー)	2.2%	1.3%(H23)	1.3%(H29)	進展遅れ	<p>(1)旅行中に行った活動(エコツアー)  <b>【進展遅れ】</b>                      これまでに、環境に配慮した観光地の施設整備、エコツーリズム推進体制の構築(環境保全活動や取組への支援、人材育成、あり方検討委員会の設置等)、プロモーション等を実施しており、これらの取組が観光客が増加する中、持続可能な観光発展に寄与している。                      なお、平成30年度の当該指標は2.4%となり、目標値を達成している。</p> <p>(2)エンターテインメント創出・観光メニューの商品造成数(累計)  <b>【達成見込み】</b>                      観光客の平均宿泊日数や一人当たりの観光消費額向上のため、沖縄独自の観光プログラムの開発等を支援し、その商品造成件数は累計125件となり、目標達成見込みである。また、平成29年度支援事業の平成30年度時点での自走化率は75%となっている。</p>	
2. エンターテインメント創出・観光メニューの商品造成数(累計)	170件	12件(H23)	125件(H30)	達成見込み		
3. 沖縄観光のリピート率(沖縄旅行の回数が2回以上の割合)	23.5%	—	19.4%(H29)	達成見込み		
4. スポーツコンベンションの開催件数	700件	460件(H22)	631件(H29)	達成見込み		
5. スポーツコンベンションの県外・海外参加者数	73,000人	75,056(H22)	71,495人(H29)	達成見込み		
6. スポーツキャンプ・合宿の実施件数	400件	228件(H22)	407件(H29)	達成		
7. スポーツキャンプ合宿の県外・海外参加者数	13,000人	6,542人(H22)	11,649人(H29)	達成見込み		
政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
環境共生型観光の推進(H24~H29)(文化観光、環境部)	県事業 ソフト交付金	1,448百万円 (1,155百万円)	保全利用協定締結地区への支援やエコツーリズムを推進する団体による普及啓発活動等を支援した	【H30年度】 環境保全活動支援数:1団体 プロモーション支援:1団体	【H30年度】 環境保全活動支援数:1団体 プロモーション支援:1団体	達成
ウェルネスツーリズム等の推進(H26~H29)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	181百万円 (145百万円)	ウェルネス・医療ツーリズム等に関連した事業に先進的に取り組む事業者等への支援を実施	【H29年度】 ウェルネスツーリズムに関連商品造成の支援:2件	【H29年度実績】 ウェルネスツーリズムに関連商品造成の支援:2件	達成
沖縄の観光資源を活用したエンターテインメント創出・観光メニュー開発等の支援(H24~R3)	県事業 ソフト交付金	4,056百万円 (3,237百万円)	観光メニューやMICEメニューの開発について、民間企業等の有望なプロジェクトを支援した。	【H30年度】 観光商品の開発支援:12件	【H30年度】 観光商品の開発支援:12件	達成
カップルアニバーサリーツーリズム拡大事業(リゾートウェディング誘致強化事業)(H24~R3)	県事業 ソフト交付金	366百万円 (292百万円)	リゾートウェディング等の誘致に向けて、国内外でのプロモーションを実施	【H30年度】 旅行博等出展数:8回	【H30年度実績】 旅行博等出展数:9回 リゾートウェディング実施組数: H23:8,872組⇒H30:17,115組	達成
外国人観光客受入体制強化事業(H27~R3)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	1,035百万円 (826百万円)	多言語による観光案内や通訳サービス、HP等の翻訳費用の支援など、外国人観光客受入に係る取組を支援した	【H30年度】 多言語コンタクトセンター対応 受入インフラ整備支援	【H30年度】 多言語コンタクトセンター対応: 6,387回 受入インフラ整備支援:48件	進展

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立

政策ツール							背景・要因の分析	
<b>主な予算事業</b>							<p>(3)沖縄観光のリピーター率(沖縄旅行の回数が2回以上の割合)  <b>【達成見込み】</b>                      リピーター率は平成23年度の11.7%から平成29年度は19.4%に上昇している。国籍別に見ると台湾、韓国、香港、中国などの重点市場においては、リピーター比率が上昇している。定期便の拡充や観光コンテンツの充実、受入体制の強化等による、満足度向上がリピーター化に繋がっていると考えられる。                      一方でアメリカ、その他の国では、沖縄旅行回数が「初めて」の比率が上昇傾向にある。プロモーション等の成果として、新規開拓市場や戦略開拓市場において、沖縄観光の認知度向上やチャーター便の促進等、が図られたことが要因と考えられる。</p> <hr/> <p>(4)スポーツコンベンションの開催件数及び県外・海外参加者数  <b>【達成見込み】</b>                      県外スポーツイベント等における沖縄県へのスポーツ旅に係る誘客プロモーション、受入主体となる市町村や競技団体等と連携したスポーツコミッション沖縄におけるスポーツコンベンションの各種相談対応等に取り組んでいることから、R3年度時には成果目標を達成できると見込んでいる。</p>	
記載なし	<b>事業名 (事業年度)</b>	<b>事業の種類</b>	<b>事業費 (うち国費)</b>	<b>事業の概要</b>	<b>目標値</b>	<b>実績値</b>		<b>達成状況</b>
	スポーツツーリズム戦略推進事業(H24～R3)	県事業 ソフト交付金	618百万円 (494百万円)	スポーツを通じた観光誘客を推進するため、スポーツイベントの創出・定着に取り組む事業者を支援した。	【H30年度】 スポーツツーリズムモデル事業数:3件	【H30年度】 スポーツツーリズムモデル事業数:4件		達成
記載なし	スポーツ観光誘客促進事業(H24～R3)	県事業 ソフト交付金	758百万円 (606百万円)	スポーツイベントやスポーツ環境のプロモーション等を行い、県内外からの誘客や県民がスポーツに触れる機会の創出を図る。	【H30年度目標】 ・国内観光客数 693万人 ・外国人観光客数 163百万人	【H30年度実績】 ・国内観光客数 700万人 ・外国人観光客数 300万人		達成
記載なし	プロ野球キャンプ等訪問促進事業(H24～R3)	県事業 ソフト交付金	429百万円 (343百万円)	ファン感謝祭を活用した情報発信、キャンプ開幕イベント実施、ガイドブックの配布等により、県民挙げての歓迎の機運醸成を図った。	【H30年度】 プロ野球キャンプ等を目的とした県外観光客:75,000人	【H30年度】 プロ野球キャンプ等を目的とした県外観光客:84,000人		達成
P445	サッカーキャンプ誘致戦略推進事業(H24～R3)	県事業 ソフト交付金	397百万円 (318百万円)	県外クラブの誘致活動や受入市町村の芝環境の整備、ガイドブックやWeb等による情報発信を実施した	【H30年度】 ・プロサッカーキャンプを目的とした観光客数:5,763人 ・プロサッカーキャンプ件数:23件 ・アマチュアサッカーキャンプ件数:1件	【H30年度】 ・プロサッカーキャンプを目的とした観光客数:10,858人 ・プロサッカーキャンプ件数:24件 ・アマチュアサッカーキャンプ件数:4件		達成
記載なし	スポーツ観光交流拠点整備事業(H24～H28) (宮古島市)	市町村事業 ソフト交付金	4,340百万円 (3,472百万円)	年間を通して軽スポーツが楽しめる、地域の伝統文化に親しむことができる全天候型のスポーツ・伝統文化交流拠点施設を整備する	【H28年度】 スポーツ観光交流拠点の整備完了	【H28年度】 スポーツ観光交流拠点の整備完了		達成
P377 P380 P381 P446	スポーツコンベンション推進事業(H25～H29) (沖縄市)	市町村事業 ソフト交付金	70百万円 (56百万円)	プロスポーツやアマチュア団体の合宿誘致を行うとともに、プロスポーツ団体等のPR活動や交流イベント等を開催する	【H29年度】 スポーツ合宿延泊者数:16,795人 ホームタウンプロスポーツチーム年間来場者数:122,563人	【H29年度】 スポーツ合宿延泊者数:19,911人 ホームタウンプロスポーツチーム年間来場者数:142,183人		達成

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-ア 国際的な沖縄観光ブランドの確立

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
観光振興等支援事業 (H25～H29) (豊見城市)	市町村事業 ソフト交付金	233百万円 (98百万円)	観光開発やイベントへの支援を行うとともに、観光振興に取り組む担い手となる団体を育成。新たな特色ある観光事業の誘致や観光PR活動を行う	【H29年度】 観光地点等入込客数 :464万人	【H29年度】 観光地点等入込客数 :506万人	達 成
伊江村多目的屋内運動場施設整備事業(沖縄北部連携促進特別振興事業費) (H26～H27)(伊江村)	市町村事業 内閣府計上	1,603百万円 (1,283百万円)	民泊受入れのフィールド創出、地域住民の健康増進、プロスポーツ選手や企業等の合宿誘致のための多目的屋内運動場を整備	新規大会等誘致: 26団体/年	【H28年度実績】 24団体 【H29年度実績】 28団体 【H30年度実績】 30団体	達 成
やんばる東海岸ブルー・ツーリズム活動拠点整備事業(沖縄北部連携促進特別振興事業費) (H28～H29)(国頭村)	市町村事業 内閣府計上	416百万円 (333百万円)	やんばる東海岸にブルー・ツーリズム活動拠点エリアを整備し、民泊事業との連携による漁業体験や海洋性レクリエーションの提供を通じて、やんばる3村の産業振興・地域活性化を図る	①交流人口増加:1,450人、②雇用効果:4人	【H30年度実績】 ①66名、②4名	進展遅れ

(5)スポーツキャンプ・合宿の実施件数及び県外・海外参加者数  
**【達成見込】**  
 県外スポーツイベント等における沖縄県へのスポーツ旅に係る誘客プロモーション、受入主体となる市町村や競技団体等と連携したスポーツコミッション沖縄におけるスポーツコンベンションの各種相談対応、プロ野球キャンプ及びサッカーキャンプに係る誘客・誘致活動等に取り組んでいることから、県外・海外参加者数については、R3年度までに目標値を達成できると見込んでいる。

税制等				
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(R3年度)	実績値(29年度)	達成状況

努力義務・配慮義務・特例措置		
沖縄法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)

# 沖縄振興計画 検証シート（観光誘客）

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-イ 市場特性に対応した誘客活動の展開

成果指標						背景・要因の分析	
成果指標		目標値(H33年度)	基準値	実績値	達成状況	<b>(1)入域観光客数(外国人除く)</b> <b>【達成見込】</b> 航空会社、旅行会社、マスメディアと連携し、季節や年齢、沖縄観光の経験有無等に応じて、誘客ターゲットを特定し、プロモーションを実施することで、沖縄観光に対する需要喚起を図った。この効果として、地方路線や本土と離島を結ぶ路線の新規就航、既存路線の拡充に繋がり、国内観光客数は平成24年度から6年連続で増加し、順調に推移している。	
P449	1. 入域観光客数(外国人除く)	800万人	522万人(H23)	699万人(H30)	達成見込		
	2. 外国人観光客数	400万人	30.1万人(H23)	300万人(H30)	達成見込		
掲載なし	3. 沖縄旅行に対するリピーターの満足度(旅行全体の評価が「大変満足」の比率)	60.0%	51.7%(H23)	48.1%(H29)	進展遅れ		
P449	4. 外国人観光客の満足度(旅行全体の評価が「満足」の比率)	50.0%	31.1%(H23)	84.8%(H29)	達成		
	5. 修学旅行者数	45.2万人	45.2万人(H23)	43.2万人(H30)	達成見込		
政策ツール						<b>(2)外国人観光客数</b> <b>【達成見込】</b> 沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」のもと実施している官民一体となったプロモーションの成果として、沖縄の認知度向上に繋がり、台湾や韓国等の東アジアに加え、タイやシンガポール等の東南アジアからの新規就航が実現し、那覇空港の海外路線数(就航都市数)は、平成24年度の7から平成30年度は14と倍増している。このことにより、空路での入域客数は順調に推移している。 また、クルーズ船社への誘致活動や受入態勢強化により、クルーズ寄港地としての認知度が向上し、寄港回数が平成23年度の112回から平成30年度は528回と増加し海路による入域客数も順調に推移している。	
主な予算事業							
事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値		達成状況
P447	観光誘客対策事業(沖縄観光国際化ビッグバン事業)(H24~R3)	14,593百万円(11,645百万円)	旅行会社、航空会社等と連携した航空路線の拡充や国海外での沖縄観光プロモーション等を実施。	【H30年度目標】 ・新規路線就航数(海外)1路線 ・欧米、東南アジアからの観光客数 16万人 ・台湾、韓国、中国、香港からの観光客数 148万人	【H30年度実績】 ・新規路線就航数(海外)2路線 ・欧米、東南アジアからの観光客数 60万人 ・台湾、韓国、中国、香港からの観光客数 240万人		達成
P447	国内需要安定化事業(H24~H33)(文化観光スポーツ部)	4,712百万円(3,761百万円)	各種メディアを活用したプロモーションやWEBによる観光情報発信、沖縄観光ブランドの国内広告展開等を実施した。	【H30年度目標】 国内観光客数:685万人	【H30年度実績】 国内観光客数:699万人		達成
P448	外国人観光客受入体制強化事業(H27~H33)	1,035百万円(826百万円)	Free Wi-Fiのエリア拡大や多言語コンタクトセンターの運営、医療受入態勢の整備等を行った。	【H30年度目標】 ・Free Wi-Fi利用者数(外国人)102,100人/年 ・医療通訳コールセンター対応件数 360件	【H29年度実績】 ・Free Wi-Fi利用者数(外国人)375,865人/年 ・医療通訳コールセンター対応件数 1,145件		達成
	LCC仮設ターミナル交通対策事業(H25~H30)	549百万円(438百万円)	LCCターミナルの交通環境を改善するため、ターミナル間の巡回バスを運行し、利用者の利便性を図る。	【H30年度目標】 ・LCC旅客数137万人/年	【H30年度実績】 ・LCC旅客数 151万人/年	達成	
P447	教育旅行推進強化事業(H28~H30)	995百万円(794百万円)	修学旅行フェアや説明会を開催し沖縄修学旅行の魅力や学習効果について情報発信を行った。	【H30年度目標】 ・修学旅行者数(国内)44万人以上	【H30年度実績】 ・修学旅行者数(国内)43.2万人	概ね達成	

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-イ 市場特性に対応した誘客活動の展開

政策ツール							背景・要因の分析
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	<p>(3)沖縄旅行に対するリピーターの満足度  <b>【進展遅れ】</b>                      基準値の51.7%から直近の実績値48.1を比較すると3.6%低下しているものの、満足度と大変満足度を含めた平成25年度から平成29年度の実績値は91.4%から88.1%と高い数値を維持している。一方で、宿泊施設、土産品及び食事の「大変満足」が50%を切る状態が続いているため、関係機関と課題を意見交換するなど、目標の達成に向けた改善策の検討に取り組む必要がある。</p> <p>(4)外国人観光客の満足度  <b>【達成】</b>                      多言語コンタクトセンターの運営、飲食店や宿泊施設などのメニュー、ホームページ等の翻訳支援、外国語対応人材の育成、確保等の支援、無料Wi-Fiエリアの拡大により、項目別で比較的低い満足であった「多言語対応能力」や「Wi-fi」の満足度が向上し、全体の満足度も順調に推移している。また、平成30年度4月からは、医療通訳サービスを24時間対応するコールセンターを開設したことなどにより目標を達成する見込み。</p>
P448 クルーズ船プロモーション事業(H24~H33) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	3,527百万円 (2,815百万円)	クルーズ船社への誘致活動や旅行会社等と連携した商品造成支援のほか、受入体制を強化し、クルーズ船の寄港促進を図る。	【H30年度目標】 ・クルーズ船寄港回数 662回/年	【H30年度実績】 ・クルーズ船寄港回数 528回/年	概ね達成	
海外事務所等による海外誘客支援(H24~R3) (商工労働部)	県単	1,045百万円 (0百万円)	海外事務所等による情報収集・情報提供や展示会等への出展支援、県内企業の海外展開支援を実施	【H30年度目標】 イベント出展支援やプロモーション活動、県内企業の海外展開支援等を実施	【H30年度実績】 旅行博出展支援、現地での営業活動、県内企業の海外展開支援、情報発信等 2,149件 を実施	達成	
観光プロモーション事業(H24~H29) (宮古島市)	市町村事業 ソフト交付金	148百万円 (119百万円)	ウェブサイト等を活用したプロモーションの実施、県内外における集客力の高い観光PRイベント等へ参加等	【H29年度目標値】 入域観光客数710,000人以上	【H29年度実績】 入域観光客数988,343人	達成	
Kozaフィルムオフィス事業(H24~H29) (沖縄市)	市町村事業 ソフト交付金	38百万円 (30百万円)	沖縄市の魅力ある地域のロケ地情報の発信や撮影の誘致等を支援する。	【H29年度目標】 映画・ドラマ等撮影支援件数 90件	【H29年度実績】 映画・ドラマ等撮影支援件数 105件	達成	

# 沖縄振興計画 検証シート（観光誘客③）

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-イ 市場特性に対応した誘客活動の展開

政策ツール					背景・要因の分析	
<b>税制等</b>					<b>(5)修学旅行者数</b> <b>【達成見込】</b> 少子化により修学旅行需要が減少傾向にある中、修学旅行フェアや説明会の実施による新規需要の開拓や、事前・事後学習支援等の満足度向上のための取組により安定的な需要を確保し、基準値から概ね横ばい(微減)となっている。	
P458 ～459	観光地形成促進地域	国税 1件(2百万円) 地方税 24件(63百万円)	入域観光客数(国内外) 1,200万人 観光収入(国内外) 1.1兆円	【H30年度】 入域観光客数(国内外) 999.9万人 観光収入(国内外) 7,335億円		進展
P461 ～462	沖縄型特定免税店制度 (輸入品を携帯して出域する場合の 関税の免除)	関税 1,890百万円	国内観光収入 5,783億円	【H29年度】 国内観光収入 4,979億円		達成見込み
P463 ～464	航空機燃料税の軽減措置	適用数量 741万kℓ 適用額 667億円	国内観光客数(空路) 794万人 観光収入(空路国内客) 5,739億円	【H30年度】 国内観光客数(空路) 694万人 観光収入(空路国内客) 5,017億円		未達成
<b>努力義務・配慮義務・特例措置</b>						
沖振法条文番号・見出し		実施主体	成果(例)			
§ 15	海外における宣伝等の措置(努力義務)	国等  地方公共団体	・独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)ではデジタルジャパン事業や海外メディアを通じた情報発信、海外現地メディアを通じた情報発信、外国語ツールによる情報発信等を沖縄県と連携して実施した。  ・沖縄県では、沖縄観光国際化ビッグバン事業等においてアジアをはじめ欧米等での沖縄観光プロモーションをJNTOをはじめ国内外の関係機関と連携し積極的に展開した。			

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-ウ 大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興

成果指標						背景・要因の分析
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	<p><b>(1) MICE開催による直接経済効果【進展遅れ】</b> インセンティブ旅行、展示会等の開催件数、参加者数ともに増加しており、直接経済効果は単年度では計画値を大きく上回った。当初予定されていた大型MICE施設の設置が大幅に遅れていることから、R3年度の計画値に対し遅れが生じているものの、MICEによる経済効果を最大化するため、沖縄MICEネットワークを活用し、県内MICE関連産業の創出等を推進する等、目標達成に向けて取り組む。</p> <p><b>(2) 1,000人以上のMICE開催件数【進展遅れ】</b> 展示会・イベントやインセンティブ旅行は前年より増加したが、大人数の受入が出来る施設が限られ、県内最大のMICE施設である沖縄コンベンションセンターも稼働率が高いことから、大型催事は頭打ちの状況となっている。</p> <p><b>(3) 県外・海外からの参加者が300名以上のインセンティブ旅行件数【達成】</b> 国内外でのプロモーション活動を実施した結果、国内の大型インセンティブ旅行の増加に繋がり、目標といていた件数を上回った。今後も各種プロモーションや中規模以上の催事への開催支援を継続して行う。</p>
P451	1. MICE開催による直接経済効果	413億円	209億円(H28)	243億円(H30)	進展遅れ	
P451	2. 1,000人以上のMICE開催件数	134件	85件(H28)	85件(H30)	進展遅れ	
P451	3. 県外・海外からの参加者が300名以上のインセンティブ旅行件数	40件	17件(H28)	44件(H30)	達成	
P451	4. 国際会議の件数(ICCA基準を満たしているもの)	20件	13件(H28)	12件(H30)	進展遅れ	
P451	5. 国内会議の件数(JCCB基準を満たしているもの)	50件	39件(H28)	32件(H30)	進展遅れ	
政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
P450	国内外におけるMICE情報の収集(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	63百万円 (51百万円)	最新のMICE市場の動向を収集や、主催者ニーズを把握し、効果的なMICE誘致・プロモーションにつなげていく。	【H30年度】 MICE関係団体、MICE専門商談会における情報収集	【H30年度実績】 国内2都市、海外15都市で商談会・セミナー等を主催又は出展し、プロモーション及び主催者ニーズを把握	達成
P450	MICEブランドの構築・発信(H28～R3) (文化観光スポーツ部)	103百万円 (82百万円)	沖縄MICEブランドを関係事業者と協働して開発し、プロモーション活動等においてMICEブランドを効果的に発信し認知度向上を図る。	【H30年度】 継続的なブランドプロモーションの展開	【H30年度実績】 プロモーション動画を作成しメディアを通じた周知活動の実施	達成
P450	企業ミーティング・インセンティブ旅行の誘致(H24～R3)	16百万円 (13百万円)	企業等を対象としたMICEセミナー開催や県内事業者とのマッチングイベント等を開催した。	【H30年度】 主催者等への誘致活動、商談会等への参加、キーパーソンの招聘	【H30年度実績】 商談40件の実施及び国内2都市64社、海外12都市89社に対してMICEセミナーの実施	達成
P450	コンベンションの誘致(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	63百万円 (51百万円)	県内大学等と連携し、国内学会や国際会議の誘致・開催支援を実施した。	【H30年度】 主催者等への誘致活動、商談会等への参加、大学による誘致活動支援	【H30年度実績】 県内外大学の学会主催者への訪問活動や学会主催者等のFAMツアー(県内視察)を実施したほか、コンベンションを専門に取り扱う商談会3件へ出展し、延べ59件の商談を実施	達成

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-ウ 大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							<p>(4)国際会議の件数(ICCA基準、JCCB基準を満たしているもの) 【進展遅れ】</p> <p>国際会議等の開催地は開催の数年前に決定することから、数年前の誘致活動の結果が反映されており、国際会議については横ばい、国内会議については9件減となり計画値を下回ったものの、国内学会については地方での開催意欲が年々高まりつつあることから、目標達成に向けて前進している。</p>
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
P450	県事業 ソフト交付金	150万円 (120万円)	国内外の展示会主催者等への誘致活動と、県内での展示会等開催に向けた産業界の取組を促進する。	【H30年度】 主催者への誘致活動や展示会等の開催支援	【H30年度実績】 主催者への誘致活動や展示会等の開催支援	達成	
P451	県事業 (県単、ソフト交付金)	7,164百万円 (174百万円)	施設規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する。	【H30年度】 設計・工事・開業準備に向けた取組	【H30年度実績】 事業推進に向けた関係機関との協議や整備財源の確保策を含む新たな事業計画の策定に向けた調整を行った。	進展遅れ	
P451	県事業 (県単、ソフト交付金)	75百万円 (6百万円)	大型MICE受入環境整備に向けた都市計画及び交通計画に係る関係部局や地元自治体と情報共有、課題整理等を行なった。	【H30年度】 マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョンの実施に向けた関係機関との調整	【H30年度実績】 マリンタウンMICEエリアまちづくりデザインを策定	達成	
記載なし	県単	2,454百万円 (0百万円)	沖縄コンベンションセンター及び万国津梁館における管理運営や利用環境を維持強化を図る。	【H30年度】 適切な施設の管理・運営・機能強化	【H30年度】 適切な施設の管理・運営・機能強化	達成	
P450	県事業 ソフト交付金	209百万円 (167百万円)	MICE歓迎イベントやシャトルバス借上支援、芸能団派遣など参加者の満足度を高める取組を実施	【H30年度】 MICE歓迎イベント、シャトルバス借り上げ支援、開催経費の負担軽減等の実施	【H30年度実績】 主催者に対して、開催経費の一部助成を行ったほか、芸能団派遣などにより、MICE参加者の満足度を高める各種サポートを実施	達成	
P451	県事業 ソフト交付金	26百万円 (21百万円)	沖縄MICEネットワークが中心となり企業向けMICE勉強会の開催や県民向けイベントを実施した。	【H30年度】 MICE普及イベントの開催やMICE主催者による県民向けイベントの開催促進	【H30年度実績】 県民向けシンポジウムや企業への出前講座等を開催するとともに、主催者へ県民イベントの開催の働きかけの実施	達成	

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-ウ 大型MICE施設を核とした戦略的なMICEの振興

政策ツール				背景・要因の分析
<b>税制等</b>				
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況
観光地形成促進地域制度	国税 1件(2百万円) 地方税 24件(63百万円)	入域観光客数(国内外) 1,200万人 観光収入(国内外) 1.1兆円	入域観光客数(国内外) 957.9万人 観光収入(国内外) 6,979億円	進展
<b>努力義務・配慮義務・特例措置</b>				
沖振法条文番号・見出し		実施主体	成果(例)	
§ 15	海外における宣伝等の措置(努力義務)	国等	・独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)ではデジタルジャパン事業や海外メディアを通じた情報発信、海外現地メディアを通じた情報発信、外国語ツールによる情報発信等を沖縄県と連携して実施した。	
		地方公共団体	・沖縄県では、沖縄観光国際化ビッグバン事業等においてアジアをはじめ欧米等での沖縄観光プロモーションをJNTOをはじめ国内外の関係機関と連携し積極的に展開した。	

P458  
～459

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備

成果指標						背景・要因の分析	
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	調整中 (他部会)	
P454	1. 那覇空港の年間旅客者数	2,123万人	1,423万人(H22)	2,116万人(H29)	達成見込		
	2. 那覇港の年間旅客者数	123万人	59万人(H23)	165.7万人(H29)	達成		
	3. クルーズ船寄港回数・海路による入域観光客数(県全体)	933回 2,000,000人	112回 116,400人(H23)	528回 1,123,800人(H30)	進展		
	4. 道路状況(渋滞状況等)に対する観光客満足度(国内客、「大変満足」の比率)	23.6%	22.8%(H21)	23.2%(H27)	達成見込		
掲載なし	5. 観光振興計画等を策定した市町村数	33市町村	19市町村(H23)	36市町村(H29)	達成		
	6. 観光アクセス道路の緑化延長	80km	0km/80km(H23)	80.0km(H30)	達成		
P453	7. 外国人観光客の満足度(案内表記)	90.0%	71.7%(H23)	75.5%(H29)	進展遅れ		
P453	8. 外国人観光客の満足度(両替利便性)	70.0%	52.6%(H23)	70.5%(H29)	達成		
掲載なし	9. クリーンアップキャンペーン参加者数	20,700人/年	8,280人/年	23,440人/年	達成		
政策ツール						調整中 (他部会)	
主な予算事業							
事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値		達成状況
那覇空港の滑走路増設整備(H26~R2)(国土交通省)	国直轄	(国で記載)	(国で記載)	(国で記載)	(国で記載)		(国で記載)
那覇空港旅客ターミナル整備(H28~R2)(企画部)	民間事業・国直轄	20,912百万円(364百万円) ※連結ビル部分	那覇空港の国際線及び国内線の旅客ターミナルを連結する施設を整備する。また、国際線利用客の急増に対応すべく、CIQおよび周辺施設の増築を行う。	【H30年度】 際内連結ターミナル施設の供用開始 CIQ施設増築工事の着工	【H30年度実績】 際内連結ターミナル施設の供用開始 CIQ施設増築工事の着工	達成	
離島拠点空港の国際線受入体制の整備(H27~R3)(土木建築部)	各省計上 県事業 ソフト交付金	1,032百万円(880百万円)	新石垣空港や宮古圏域の空港において、国際線旅客ターミナルビルやCIQ施設を整備する。	【H30年度】 新石垣空港エプロン拡張 新石垣空港旅客施設整備 下地島空港ターミナル地区整備	【H30年度実績】 新石垣空港エプロン拡張整備の実施 新石垣空港国際線旅客施設整備工事の入札 下地島空港ターミナル地区整備の実施	やや遅れ	

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備

政策ツール							背景・要因の分析
<b>主な予算事業</b>							<p>(3)クルーズ船寄港回数・海路による入域観光客数(県全体) 【進展】</p> <p>クルーズ船誘致については、ソフト交付金を活用したクルーズ船プロモーション事業等において、船社訪問や展示会出展、ポートセールスなどを実施したほか、乗客の満足度向上を図るため、受入団体への支援、歓送迎セレモニーの実施など、受入体制の強化に取り組んでおり、那覇港、平良港などで寄港回数は大幅に増加し、平成24年の125回から平成30年は528回と4倍以上となり、過去最多を更新した。那覇港の寄港回数は243回と県内で最多、全国でも長崎港を抜き博多港に次ぐ全国第2位となっている。</p> <p>各港湾におけるクルーズ船の寄港回数は年々増加しており、目標年度までにクルーズ船の大型化等に対応する岸壁やターミナルビルの供用が開始されれば、目標値は概ね達成される見込みである。</p>
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
大型クルーズ船受入体制の整備(H00~R0) (国土交通省)	国直轄	百万円 (百万円)	(国で記載)	(国で記載)	(国で記載)	(国で記載)	
那覇港人流機能強化整備事業(H24~R3) (土木建築部)	県事業 ハード交付金	823百万円 (275百万円)	那覇港利用者の安全性・快適性・利便性の確保に向け、緑地や利便性向上施設等の整備、クルーズ受入促進事業等を実施	【H30年度】 泊ふ頭の屋根付き歩道の整備及び、浦添ふ頭東緑地の整備	【H30年度実績】 泊ふ頭の屋根付き歩道の整備及び、浦添ふ頭東緑地の整備	達成	
中城湾港・海洋レジャー拠点創出事業(H24~R6) (土木建築部)	県事業 ハード交付金	9,766百万円 (6,430百万円)	スポーツコンベンション拠点の形成を図るため、中城湾港新港地区の浚渫土砂を活用した埋立てにより人工海浜や緑地等を整備する	【H30年度】 護岸部分地盤改良及び護岸基礎整備等	【H30年度実績】 護岸部分地盤改良及び護岸基礎整備等	進展	
圏域の拠点港湾(石垣港、平良港、本部港)の整備(H24~R2) (土木建築部)	国直轄 県事業 各省補助	10,074百万円 (9,067百万円)	大型クルーズ船に対応する岸壁や旅客ターミナルビルの整備、岸壁整備、ふ頭用地、防波堤の整備を行う	【H30年度】 岸壁・防波堤の整備	【H30年度実績】 岸壁・防波堤の整備	概ね達成	
那覇空港自動車道の整備(H24~R3) (土木建築部)	国直轄	37,259百万円 (35,396百万円)	那覇空港と沖縄自動車道を連結する高規格幹線道路として那覇空港自動車道の整備を行う	【H30年度目標】 2区間供用	【H30年度実績】 2区間供用	達成	
沖縄西海岸道路の整備(H24~R3) (土木建築部)	国直轄	56,933百万円 (54,086百万円)	中南部圏域西海岸の地域高規格道路として沖縄西海岸道路の整備を行う	【H30年度目標】 4区間供用	【H30年度実績】 4区間供用	達成	
ハンゴ道路等ネットワークの構築(H24~R3) (土木建築部)	県事業 内閣府計上 ハード交付金	76,789百万円 (69,110百万円)	本島南北軸・東西軸を有機的に結ぶハンゴ道路をはじめとする幹線道路ネットワークの整備を行う	【H30年度目標】 4区間供用	【H30年度実績】 3区間供用	概ね達成	
沖縄都市モノレール延長整備事業(H24~R3) (土木建築部)	県事業 ハード交付金	65,414百万円 (56,863百万円)	首里駅から沖縄自動車道(西原入口)までモノレールを延長し沖縄自動車道と結節を図る。	【H30年度】 延長事業進捗率:100% 幸地IC整備進捗率:14.2%	【H30年度実績】 延長事業進捗率:98.3% 幸地IC整備進捗率:9.4%	達成見込	
沖縄フラワーケーション事業(H24~R3) (土木建築部)	県事業 ソフト交付金	3,071百万円 (2,457百万円)	国際通りや首里城等の観光地へアクセスする41路線について、緑化(草花等)・重点管理を実施	【H30年度】 道路緑化・重点管理延長 72.5km/80km	【H30年度実績】 道路緑化・重点管理延長 80km/80km	達成	
主要道路における沿道空間の緑化事業(H24~R3) (土木建築部)	県単事業	5,833百万円 (一)	主要道路について、沿道空間における除草や道路植栽・街路樹の剪定等を通年で実施する	【H30年度】 道路緑化・育成管理延長 285km/285km	【H30年度実績】 道路緑化・育成管理延長 285km/285km	達成	
							<p>(4)道路状況(渋滞状況等)に対する観光客満足度(国内客、「大変満足」の比率) 【達成見込】</p> <p>調整中 (他部会)</p>

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備

政策ツール							背景・要因の分析	
<b>主な予算事業</b>							<p>(5)観光振興計画等を策定した市町村数 <b>【達成】</b> 離島観光振興会議等による各市町村等との意見交換、市町村における観光振興計画の進捗状況管理等に関する委員への就任などにより、計画策定を行う市町村の支援を行うことにより、目標値を達成している。</p> <p>(6)観光アクセス道路の緑化延長</p> <div style="background-color: #4a90e2; color: white; text-align: center; padding: 20px; font-size: 24px; font-weight: bold;">調整中 (他部会)</div>	
事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況		
P453	案内表示の充実強化 (道路案内標識等)(H25～R3) (土木建築部)	県事業 ハード交付金	1,464百万円 (1,171百万円)	道路案内標識の適切な設置及び更新のほか、主要な地名・観光地を外国語表記することで道路利用者の利便性向上を図る	【H30年度】 案内標識の設置・更新・修繕12基	【H30年度実績】 案内標識の設置・更新・修繕8基新設、74基修繕		達成
	めんそーれ沖縄県民運動推進事業(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	217百万円	県民一丸となった受入体制づくりを推進するため、かりゆしウェア着用促進やクリーンアップ活動等を推進	【H30年度】 クリーンアップキャンペーンの実施回数 12回	【H30年度】 クリーンアップキャンペーンの実施回数 12回 (参加者数:23,440人)		達成
P453	観光危機管理推進事業 (H28～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	112百万円 (89百万円)	市町村、観光協会、観光業界等と連携し全県的な観光危機管理計画を策定するとともに、観光危機管理に関する取組を実施する	【H30年度】 セミナー等開催件数:5回	【H30年度実績】 セミナー等開催件数:3回		進展
P453	旭橋再開発地区観光支援施設設置事業(H27～H30) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	254百万円 (203百万円)	モレール旭橋駅再開発事業地内に観光案内所を整備	【H30年度】 ・年間利用者数:49,100人 ・利用した観光客の評価(他者への紹介意向):90%	【H30年度実績】 ・年間利用者数:61,884人 ・利用した観光客の評価(他者への紹介意向):未実施		一部達成
	クルーズ船誘致及び誘客の取り組み(H24～H29) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	162百万円 (116百万円)	クルーズ船歓迎セレモニーの開催や観光案内所の設置、受入のための港湾機能整備等	船会社やクルーズ船観光客への満足度調査 クルーズ船寄港港湾機能の整備完了	【H24～H29年度実績】 達成市町村の割合80%		概ね達成
	無料公衆線LAN(Wi-fi)等の整備(H26～R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	452百万円 (361百万円)	魅力ある観光資源の情報発信と観光客等の利便性向上を図るため、無料公衆無線LAN等の整備を行う	無料公衆無線LANの活用に向けた基盤の拡充等	【H24～H29年度実績】 達成市町村の割合100%		達成
	瀬長島観光拠点整備事業(H24～H29) (豊見城市)	市町村事業 ソフト交付金	1,216百万円 (973百万円)	瀬長島の自然環境の保全、活用を図りつつ、歴史・文化的な価値等を踏まえた広場等の拠点施設を整備する	【H29年度目標】 全体整備計画の事業完了	【H29年度実績】 全体事業計画の事業完了		達成
	文化・観光情報発信拠点整備事業(H24～H26) (恩納村)	市町村事業 ソフト交付金	712百万円 (554百万円)	観光客への情報発信と新しい観光資源を活用した文化交流型産業を担う人材の育成を図る拠点を整備する。	【H26年度目標】 文化情報センターの整備完了	【H26年度】 文化情報センターの整備完了		達成
	読谷村地域振興センター整備事業(H25～H27) (読谷村)	市町村事業 ソフト交付金	984百万円 (666百万円)	農漁商工の連携による地域振興と交流拠点づくりのための「読谷村地域振興センター」を整備する	【H27年度目標】 地域振興センターの整備完了	【H27年度実績】 地域振興センターの整備完了	達成	

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備

政策ツール					背景・要因の分析						
<b>税制等</b>					<p>(7)外国人観光客の満足度(案内表記)  <b>【進展遅れ】</b>                      多言語観光案内サイン翻訳ルールに関する相談会や説明会のほか、翻訳ルールの周知や説明に取り組むとともに、多言語観光案内サイン翻訳ルールに関する相談会や説明会のほか、翻訳ルールの周知や説明の取組のほか、市町村における観光拠点地を中心とした多言語観光案内サインの整備が進んでいるものの、増加する外国人観光客が観光拠点地以外を訪れるなど行動が多様化しており、満足度が目標値に達していない。特にレンタカーの利用率が高い韓国の数値が低い状況にある。</p> <p>(8)外国人観光客の満足度(両替利便性)  <b>【達成】</b>                      平成24～26年度において、外貨両替機の設置に対して33件の助成を実施した。また、観光案内パンフレットやBe.OkinawaFreeWifiの接続ページでの両替機場所の周知を図っており、その効果として、満足度は52.6%(H23)から70.5%(H30)と向上しており、目標値を達成する見込み</p> <p>(9)クリーンアップキャンペーン参加者数  <b>【達成】</b>                      めんそーれ沖縄県民運動推進協議会総会等における実施呼びかけを行うとともに、計12回開催したクリーンアップキャンペーンを通じた受入体制の機運醸成により、目標値を達成している。</p>						
P458 ～459	観光地形成促進地域	国税 1件(2百万円) 地方税 24件(63百万円)	入域観光客数(国内外) 1,200万人 観光収入(国内外) 1.1兆円	【H30年度】 入域観光客数(国内外) 999.9万人 観光収入(国内外) 7,335億円		進展					
P461 ～462	沖縄型特定免税店制度 (輸入品を携帯して出域する場合の関税の免除)	関税 1,890百万円	国内観光収入 5,783億円	【H29年度】 国内観光収入 4,979億円		達成見込み					
P463 ～464	航空機燃料税の軽減措置	適用数量 741万kℓ 適用額 667億円	国内観光客数(空路) 794万人 観光収入(空路国内客) 5,739億円	【H30年度】 国内観光客数(空路) 694万人 観光収入(空路国内客) 5,017億円		未達成					
<b>努力義務・配慮義務・特例措置</b>											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>沖振法条文番号・見出し</th> <th>実施主体</th> <th>成果(例)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)							
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)									

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-オ 世界に通用する観光人材の育成

成果指標						背景・要因の分析		
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	<b>(1)観光人材育成研修受講者数</b> <b>【進展遅れ】</b> 講師派遣支援の語学研修、人材研修の延べ受講者数は、1,585人であり、目標値を下回っているが、中核人材を対象とした集合型研修の受講者数を合わせた延べ受講者数は2,262名(H29)となり目標値を上回っている。平成30年度においては、研修実施の自走化に向けた助成割合の引き下げ(8→7割)や、観光客増加による人手不足等により、研修受講者数が減少していると考えられる。		
P456	1. 観光人材育成研修受講者数	1,900人以上	1,742人(H24)	1,585人(H30)	進展遅れ			
P456	2. 外国人観光客の満足度(外国語対応能力)	60%	40.2%(H23)	60.3%(H29)	達成			
P456	3. 地域通訳案内士登録者数(累計)(※)	700人以上	98人(H23)	687人(H30)	達成見込			
(※)地域通訳案内士登録者数の基準年及び実績値は旧制度の「地域限定通訳案内士」と「沖縄特例通訳案内士」の登録者数の合計								
政策ツール						<b>(2)外国人観光客の満足度(外国語対応能力)</b> <b>【達成】</b> 観光人材育成・確保促進事業の取組や多言語コンタクトセンターの運営、飲食店等のメニュー、宿泊施設HPの翻訳支援等の成果により、目標を達成している。		
主な予算事業								
事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値		達成状況	
P455	観光人材育成の支援(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	478百万円 (381百万円)	質の高い観光サービスを提供できる人材を育成・確保するため、観光人材の育成に取り組む民間企業等に対し支援を行う。	【H30年度】 研修支援件数:100件		【H30年度実績】 研修支援件数:71件 事業所アンケート:96.1%	進展
P455	地域通訳案内士育成等事業(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	186百万円 (148百万円)	地域通訳案内士の育成を行うほか、地域通訳案内士の有資格者に対するスキルアップ研修や旅行会社等とのマッチングを行う	【H30年度目標】 研修又はマッチング会終了後に、参加者が新たに就業した人数 25名		【H30年度実績】 研修又はマッチング会終了後に、参加者が新たに就業した人数 26名	達成
記載なし	沖縄リゾートダイビング戦略モデルの構築(H27～H29) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	100百万円 (80百万円)	ダイビング事業者の経営強化および外国人ダイバーの受入体制整備に係るセミナー等を実施	【H30年度】 海外ダイバー受入態勢整備に係るセミナー実施件数:1件		【H30年度実績】 海外ダイバー受入態勢整備に係るセミナー実施件数:1件	達成
P455	観光教育の推進(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	217百万円	観光の重要性について子供達の理解を深めるため、観光学習教材を作成し、県内小学校に配布	【H30年度】 観光学習教材の配布対象:県内小学校4年生	【H30年度実績】 全小学4年生に観光学習教材を17,100冊	達成	
	観光人材の育成事業(H24～R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	28百万円 (22百万円)	観光客受入体制の強化を図るため、人材育成を行う	観光ガイドやインタープリター、インストラクターの育成人数等	【H24～H29年度実績】 達成市町村の割合94%	達成	
						<b>(3)地域通訳案内士登録者数(累計)</b> <b>【達成見込】</b> 地域通訳案内士育成研修、有資格者に対するスキルアップ研修の他、就業機会の確保支援として旅行業者等とのマッチング会に取り組んだ結果、登録者数は基準年から589名増加しており、急増する外国人観光客の受入体制に向けた目標値を達成する見込み。		

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-オ 世界に通用する観光人材の育成

政策ツール					背景・要因の分析
<b>税制等</b>					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
<b>努力義務・配慮義務・特例措置</b>					
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)			
§ 12～13	沖縄特例通訳案内士 (H30年度に地域通訳案内士制度に移行)	沖縄県	沖縄特例通訳案内士育成研修や就業機会の確保支援として旅行業者等とのマッチング会に取り組んだ結果、沖縄特例通訳案内士は平成30年度末時点で418名が育成されたことになり、増加する外国人観光客の受入体制に向けた強化が図られた。		

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-カ 産業間連携の強化

成果指標						背景・要因の分析	
P457 記載なし  P457	成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	<p>(1)観光客一人当たりの土産品等購入費 <b>【進展遅れ】</b> 魅力ある観光土産品の開発手法の構築や、雑誌広告やweb広告、webサイトによる情報発信などの販促支援により高付加価値型観光土産品周知に取り組んだものの、平成27年度以降はいわゆる爆買いに起因する外国客の買物費増加が収束傾向にあることと、外国客の消費単価は、その国の経済情勢や為替など外的要因の影響を受けること等から進展が遅れている。</p> <p>(2)観光土産品に対する満足度(国内客、「大変満足」の比率) <b>【達成見込】</b> 魅力ある観光土産品の開発手法の構築や、雑誌広告やweb広告、webサイトによる情報発信などの販促支援により高付加価値型観光土産品周知等の取組により、目標値は達成する見込みである。</p> <p>(3)宿泊業(料飲部門)における県産品利用状況 <b>【進展遅れ】</b></p> <div style="background-color: #0070c0; color: white; text-align: center; padding: 10px; margin-top: 10px;">調整中 (他部会)</div>	
	1.	観光客一人当たりの土産品等購入費	21,000円	16,526円(H23)	17,320円(H29)		進展遅れ
	2.	観光土産品に対する満足度(国内客、「大変満足」の比率)	40%	33.2%(H21)	39.6%(H29)		達成見込
	3.	宿泊業(料飲部門)における県産品利用状況	50.0%	43.8%(H21)	37.8%(H29)		進展遅れ
政策ツール							
主な予算事業							
事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
直売所を中心とした地産地消の推進(H24～H29) (農林水産部)	県事業 ソフト交付金	147百万円 (117百万円)	地産地消コーディネーター育成講座を開催した	【H29年度】 地産地消コーディネーター育成数:10名	【H29年度実績】 地産地消コーディネーター育成数:10名	達成	
県産品のデザイン活用の促進(H〇〇～R〇) (商工労働部)	県単事業	百万円 (百万円)	県産品の製品開発等において県内デザイナーのデザイン活用を促進し、デザイン力向上と県内企業に対する活用促進を図る	【H30年度】 研修会及び技術講習会の開催(宮古島市)	【H30年度実績】 研修会及び技術講習会の開催 1回、受講者7名	達成	
琉球泡盛再興プロジェクト支援事業(H30～R2) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	812百万円 (619百万円)	泡盛の持つ、商品特性や歴史、文化的背景を活かして、商品開発、販売展開支援、プロモーションによる情報発信及び調査研究事業を総合的に実施する	【H30年度】 ・泡盛ライブラリを活用した製品開発支援:2件 ・泡盛県外出荷数量:3,000kl ・経営改革計画を策定した企業数:5社	【H30年度実績】 ・泡盛ライブラリを活用した製品開発支援:1件 ・泡盛県外出荷数量:2,787kl ・経営改革計画を策定した企業数:5社	進展遅れ	
6次産業化支援(H24～R3) (農林水産部)	県事業 ソフト交付金 各省計上	546百万円 (480百万円)	県産農林水産物を利用した加工品の商品力を引き上げる研修会や販路を拡大するマッチング支援を実施	【H30年度】 構築モデル数 7件 支援件数(専門家支援を3回以上受けた数) 10事業者	【H30年度実績】 構築モデル数 6件 支援件数(専門家支援を3回以上受けた数) 13事業者	概ね達成	
グリーン・ツーリズムの推進(H24～R3) (農林水産部)	県事業 ソフト交付金 県単等	147百万円 (93百万円)	グリーン・ツーリズム実践者をネットワーク化し、各種施策を展開することで地域住民による主体的な取組を支援する	【H30年度】 グリーン・ツーリズムにおける交流人口 11.2万人	【H30年度実績】 グリーン・ツーリズムにおける交流人口 11.6万人	達成	

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
施策展開番号・名称	3-(2)-カ 産業間連携の強化

政策ツール							背景・要因の分析	
P457	主な予算事業							
	事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値		達成状況
	「旬」県産品消費拡大構築事業(H0~H0) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	百万円 (0百万円)		【H00年度】	【H00年度実績】		
沖縄観光消費額向上モデル事業(H26~H28) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	176百万円 (141百万円)	観光客のニーズを捉えた付加価値の高い観光土産品の開発モデルを構築し、県内土産品メーカーへ普及することで、観光土産品に対する消費額の増加を目指す。	【H28年度】 H27年度モデル商品のうち、販売に至った商品数: 4商品	【H28年度実績】 H27年度モデル商品のうち、販売に至った商品数: 5商品	達成		
税制等								
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24~29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況				
努力義務・配慮義務・特例措置								
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)						

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(6) 沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出
施策展開番号・名称	3-(6)-ア 沖縄のソフトパワーを活用した新事業・新産業の創出

成果指標						背景・要因の分析	
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	(1)スポーツ関連ビジネスモデル実施事業者数 <b>【進展】</b> スポーツ関連産業振興戦略推進事業において、平成29年度までに延べ22事業者に対し支援を行っている。H30年11月時点で全モデル実施事業者が事業を継続しており、自走化が図られているものの、スポーツ関連ビジネスモデル実施事業者数の目標値については、平成29年度に事業終了したことに伴い、令和3年度の目標値の6割程度にとどまっている。	
P501	1. スポーツ関連ビジネスモデル実施事業者数	32事業者	4事業者(H23)	22事業者(H29)	進展		
P501	2. 文化コンテンツ関連事業所数	258事業所	257事業所(H21)	261事業所(H28)	目標達成		
	3. 沖縄エステティック・スパ利用県外観光客市場規模(エステ・スパを行った人×総消費単価)	232億円	170億円(H24)	213.4億円(H30)	達成見込		
政策ツール						(2)文化コンテンツ関連事業所数 <b>【目標達成】</b> 沖縄文化等を活用したコンテンツ制作(映像系、エンターテインメント系、ゲーム系)に対する投資ファンドを創設し、制作費用に対する資金面への支援や、制作段階に応じたハンズオン支援を行った結果、県内コンテンツ関連事業者において自社コンテンツ製作ノウハウが蓄積されたほか、プロデューサー等の人材育成、沖縄の文化等を活用したコンテンツの創出等が図られた。県内の文化観光コンテンツ関連産業事業所数は平成28年度に261事業所となっており、目標を達成している。	
主な予算事業							
事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値		達成状況
P656	芝人養成事業(H24~H28)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	222百万円(178百万円)	スポーツキャンプ誘致におけるインフラ整備として、芝管理の専門知識と技術を兼ね備えた人材の養成を行う	【H28年度目標】 専門的管理技術を有する人材育成:5名		【H28年度実績】 専門的管理技術を有する人材育成:5名
P501	スポーツ関連産業振興戦略推進事業(H25~H29)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	218百万円(168百万円)	スポーツ関連ビジネスモデル事業及びスポーツ関連ビジネス企画コンテストを実施する	【H29年度目標】 新たな産業創出件数4件	【H29年度実績】 新たな産業創出件数7件	達成
記載なし	スポーツツーリズム戦略推進事業(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	618百万円(494百万円)	スポーツを通じた観光誘客を推進するため、県内におけるスポーツイベントの創出及び定着化に向けた補助を行うとともに、沖縄で開催される国際スポーツ大会等への補助を行う	【H30年度目標】 スポーツイベント開催件数3件	【H30年度】 スポーツイベント開催件数4件	達成
						(3)沖縄エステティック・スパ利用県外観光客市場規模(エステ・スパを行った人×総消費単価) 調整中(他部会)	

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(6) 沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出
施策展開番号・名称	3-(6)-ア 沖縄のソフトパワーを活用した新事業・新産業の創出

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
P500 沖縄文化等コンテンツ 産業創出支援事業 (H24～H29) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	187百万円 (149百万円)	沖縄の文化等を活用した コンテンツ制作プロジェクト に対して投資ファンドに よる制作資金の供給及び 制作段階に応じたハンズ オン支援を行う	【H29年度目標】 有望なコンテンツの創出、 プロデューサーの育成	【H29年度実績】 プロデューサーの育成 15名	達成	
記載なし 文化資源を活用した新 事業の創出 (H25～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	889百万円 (719百万円)	文化資源を活用したコン 텐츠及びビジネスの創 造を図るため、県内事業 者による文化資源を活用 した新たな事業展開を支 援する	【H30年度目標】 文化芸術活動数が前年 度より増加した団体の 割合 37.5%	【H30年度実績】 文化芸術活動数が前 年度より増加した団体 の割合 57.9%	達成	
記載なし アーツマネージャー育 成事業(H25～H29) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	126百万円 (97百万円)	文化芸術に係るマネジメ ントに関する座学及び県 内外の文化関連企業等へ のOJT派遣を実施する	【H29年度目標】 県外文化芸術関係機関 等への派遣人数 2名 程度	【H29年度目標】 県外文化芸術関係機 関等への派遣人数 2 名	達成	
沖縄エステティック・ス パ市場拡大支援事業 (H24～H26) (商工労働部)	県単事業		沖縄エステティック・spa の国内外における市場拡 大を図るため、海外から の顧客にも対応できる人 材育成、商品開発及びプ ロモーション活動を行う	【H26年度目標】 プロモーション開催件数 3件	【H26年度実績】 プロモーション開催件 数4件	達成	
記載なし ウェルネスツーリズム 等の推進 (H26～H29) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	181百万円 (145百万円)	ウェルネス・医療ツーリ ズム等に関連した事業に先 進的に取り組む事業者等 の支援を行う	【H30年度目標】 平成29年度に開発した メニューの商品化率： 80%以上	【H30年度実績】 平成29年度に開発した メニューの商品化率： 100%	達成	

# 沖縄振興計画 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(6) 沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出
施策展開番号・名称	3-(6)-ア 沖縄のソフトパワーを活用した新事業・新産業の創出

政策ツール					背景・要因の分析
<b>税制等</b>					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況	
<b>努力義務・配慮義務・特例措置</b>					
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)			

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(6) 沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出
施策展開番号・名称	3-(6)-オ MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出

成果指標						背景・要因の分析	
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	(1)MICE開催による経済波及効果 (間接効果) <b>【進展遅れ】</b> インセンティブ旅行、展示会等の開催件数、参加者数ともに増加しており、直接経済効果は単年度では計画値を大きく上回った。当初予定されていた大型MICE施設の設置が大幅に遅れていることから、R3年度の計画値に対し遅れが生じている状況。MICEによる経済効果を最大化するため、沖縄MICEネットワークを活用し、県内MICE関連産業の創出等を推進する必要がある。	
P506	1. MICE開催による経済波及効果(間接効果)	506億円	252億円(H28)	291億円(H30)	進展遅れ		
P506	2. 沖縄MICEネットワーク会員数	130団体	0団体(H28)	244団体(H30)	達成		
政策ツール						(2)沖縄MICEネットワーク会員数 <b>【達成】</b> MICE関連事業者や経済団体、大学関係者等を対象としたシンポジウムや個別勉強会の開催等によりMICE振興の普及啓発を行った結果、244団体の加盟があった。今後、会員間での連携した誘致活動や受入体制整備を進め、裾野の広いMICE産業の創出を目指す。	
主な予算事業							
事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値		達成状況
展示会、商談会、見本市の開催支援(H30～R2)(商工労働部)	県事業 ソフト交付金	15百万円 (12百万円)	MICEを経済成長のプラットフォームとして活用するための推進体制構築と、展示会誘致、開催支援、関連する情報収集等を実施する	【H30年度】 主催者への誘致活動や展示会等の開催支援	【H30年度実績】 主催者への誘致活動や展示会等の開催支援		達成
P506 MICE産業人材の育成(H29～R3)(商工労働部、文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	17百万円 (14万円)	ホテル、旅行会社などMICE関連事業者を対象とした各種セミナーや実践的研修等により高度で専門的な人材を育成する	【H30年度】 MICEに関するセミナー・講座の開催	【H30年度実績】 MICE関連団体等を対象に、セミナーを県内6圏域で計21回開催した		達成
P506 MICE限定制度の導入検討(H30～R2)(商工労働部)	県事業 ソフト交付金	15百万円 (12百万円)	展示会・商談会の開催時の関税等の手続きの簡素化、参加者の出入国手続きの迅速化に向けた制度の導入可能性を検討	【H30年度】 保税制度の調査	【H30年度実績】 保税制度の把握		達成
記載なし 主催者等とのマッチングイベント開催(H29～R3)(商工労働部、文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	74百万円 (59百万円)	展示会主催者等に対し沖縄のMICE開催環境をPRするとともに、県内での展示会等開催に向けた産業界の取組を促進する。	【H30年度】 沖縄のMICE開催環境のPR及び展示会等開催に向けた産業界の取組の促進	【H30年度実績】 国内市場14社、海外市場27社と県内事業者のマッチング及び国内外5都市での沖縄MICE開催環境についてのセミナーの実施		達成
記載なし 沖縄らしいMICEコンテンツの開発(H29～R3)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	12百万円 (9百万円)	自然・文化・芸能など沖縄の魅力を生かした体験プログラムなど、沖縄オリジナルのMICE関連商品の開発を促進する	【H30年度】 MICEコンテンツ開発支援	【H30年度実績】 MICEコンテンツ開発支援数6件(3地域、3企業)	達成	
						(3)沖縄から輸出される飲食料品の輸出額 調整中 (他部会)	

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(6) 沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出
施策展開番号・名称	3-(6)-オ MICEを活用した産業振興とMICE関連産業の創出

政策ツール							背景・要因の分析	
P506	主な予算事業							
	事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値		達成状況
	沖縄MICEネットワークの活動支援(H28～) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	35百万円 (28百万円)	沖縄MICE振興戦略を推進する産学官連携の中核機関として、沖縄MICEネットワークを設立した。部会、勉強会等を通して、誘致や受入に関する諸課題の解決を図る	【H30年度】 沖縄MICEネットワーク会員数 130団体	【H30年度】 沖縄MICEネットワーク会員数 244団体		達成
税制等								
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況				
努力義務・配慮義務・特例措置								
沖振法条文番号・見出し		実施主体	成果(例)					
§ 15	海外における宣伝等の措置(努力義務)	国等  地方公共団体	・独立行政法人国際観光振興機構(JNTO)ではデジタルジャパン事業や海外メディアを通じた情報発信、海外現地メディアを通じた情報発信、外国語ツールによる情報発信等を沖縄県と連携して実施した。 ・沖縄県では、沖縄観光国際化ビッグバン事業等においてアジアをはじめ欧米等での沖縄観光プロモーションをJNTOをはじめ国内外の関係機関と連携し積極的に展開した。					

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(12) 離島の特色を生かした産業振興と新たな展開
施策展開番号・名称	3-(12)-ア 観光リゾート産業の振興

成果指標	背景・要因の分析
------	----------

	成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
P587	1. 県外直行便の提供座席数・利用率	提供座席数:1,400,000席 利用率:82.5%	提供座席数:487,726席 利用率:77.8%(H24)	提供座席数:1,526,478席 利用率:82.4%(H30)	達成
P587	2. 国内客の離島訪問率【本島周辺】	10%	5.3%(H23)	3.9%(H29)	進展遅れ
P587	2. 国内客の離島訪問率【宮古圏域】	10%	6.0%(H23)	8.9%(H29)	進展遅れ
P587	2. 国内客の離島訪問率【八重山圏域】	20%	14.4%(H23)	13.4%(H29)	進展遅れ
P587	3. クルーズ船寄港回数【平良港・石垣港】	543回	54回(H23)	250回	進展
P587	4. 国内客離島訪問者の満足度(「大変満足」の比率)【本島周辺】	70.0%	58.6%(H21)	53.8%(H29)	進展遅れ
P587	4. 国内客離島訪問者の満足度(「大変満足」の比率)【宮古圏域】	70.0%	60.2%(H21)	65.9%(H29)	進展遅れ
P587	4. 国内客離島訪問者の満足度(「大変満足」の比率)【八重山圏域】	70.0%	59.1%(H21)	53.4%(H29)	進展遅れ

**(1)県外直行便の提供座席数・利用率【達成】**  
旅行博への出展やメディアを活用したプロモーションにより、知名度が向上したこと、宮古島・石垣島に新たな路線が就航するなど定期便化促進されたことなどにより、目標値を達成している。

**(2)国内客の離島訪問率【進展遅れ】**  
那覇空港発着定期便の増便や県全体の入域観光客数の増等により、相対的に離島訪問率が低下しているものの、離島路線の定期便化や離島の商品造成支援、旅行博の出展やメディア広告などにより、各離島の観光客数は増加傾向にある。

政策ツール
-------

主な予算事業							
	事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
P585	離島観光活性化促進事業(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	2,040百万円 (1,628百万円)	離島路線の新規開設や定期便化を促進するとともに、離島の商品造成支援、旅行博の出展やメディア広告を実施する	【H30年度目標】 チャーター便就航便数 40便 ・離島観光客 宮古圏域 900,000人 八重山圏域 1,500,000人 久米島圏域 120,000人	【H30年度実績】 チャーター便就航便数 14便 ・離島観光客 宮古圏域 1,143,031人 八重山圏域 1,420,142人 久米島圏域 103,309人	一部達成
	沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業(H24～R3) (企画部)	県事業 ソフト交付金	2,413百万円 (1,930百万円)	観光客等入域者数の維持による地域の活性化を図るため、小規模離島及び久米島の来訪者の航空運賃の負担を軽減する	【H30年度目標】 ・入域観光客数 小規模離島 49,200人 久米島 120,000人	【H30年度実績】 ・入域観光客数 小規模離島 52,051人 久米島 103,309人	概ね達成
P586	観光誘客対策事業(沖縄観光国際化ビッグバン事業)(H24～R3)	県事業 ソフト交付金	14,593百万円 (11,645百万円)	外国人観光客を対象とする離島旅行商品のプロモーション等を行う	【H30年度目標】 プロモーション実施地域数 海外14地域	【H30年度実績】 プロモーション実施地域数 海外25地域(52回)	達成
P586	クルーズ船プロモーション事業(H24～H33) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	3,527百万円 (2,815百万円)	国内外のクルーズ船社への誘致活動や旅行会社等と連携した商品造成支援等を実施する	【H30年度目標】 クルーズ船寄港回数 平良港 回 石垣港 回	【H30年度実績】 クルーズ船寄港回数 平良港 143回 石垣港 107回	

**(3)クルーズ船寄港回数(平良港・石垣港)【進展】**  
国内外での船会社へのセールス活動や商談会参加等のプロモーション展開、受入体制の拡充等を実施した結果、認知度が向上し平成23年の54回から平成30年度は250回となり、寄港回数が増加している。

**(4)国内客離島訪問者の満足度【進展遅れ】**  
大変満足とやや満足合わせた比率は、本島周辺、宮古圏域、八重山圏域それぞれ90%を超えている。大変満足の比率について、項目別に見ると、海のみならず、土産品や食事、宿泊施設が比較的低くなっており、これらの項目が全体の満足度の伸び悩みの原因の一つと考えられる。

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(12) 離島の特色を生かした産業振興と新たな展開
施策展開番号・名称	3-(12)-ア 観光リゾート産業の振興

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

### 主な予算事業

事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
宮古広域公園整備事業 (H26～R1) (土木建築部)	県単事業	245百万円 (0百万円)	宮古圏域における観光振興や定住環境整備に寄与するレクリエーションの場として、宮古広域公園を整備する	【H30年度目標】 環境アセスの実施 (環境影響評価準備書作成)	【H30年度目標】 環境アセスの実施 (環境影響評価準備書作成)	達成
渡嘉敷村観光総合整備事業(H24～R3) (渡嘉敷村)	市町村事業 ソフト交付金	136百万円 (108百万円)	県内外で開催される観光イベント等におけるPR活動、各種広告媒体を活用した情報発信及び外国人観光客の受入強化に取り組む	【H29年度目標】 熱間入域観光客数: 132,000人以上	【H29年度実績】 熱間入域観光客数: 144,000人	達成

### 税制等

軽減措置の名称	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(R3年度)	実績値	達成状況
航空機燃料税の軽減措置	適用数量 741万kℓ 適用額 667億円	国内観光客数(空路) 794万人 観光収入(空路国内客) 5,739億円	【H30年度】 国内観光客数(空路) 694万人 観光収入(空路国内客) 5,017億円	未達成
離島の旅館業に係る減価償却の特例	国税 5件(345百万円) 地方税 495件(859百万円)	離島の旅館業用建物における 収容人員数 41,325人	【H28年度】 離島の旅館業用建物における 収容人員数 42,234人	

### 努力義務・配慮義務・特例措置

沖縄法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)

P463～  
P464

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(12) 離島の特色を生かした産業振興と新たな展開
施策展開番号・名称	3-(12)-エ 離島を支える多様な人材の育成・確保

成果指標	背景・要因の分析
------	----------

P593

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 観光人材育成研修受講者数	190名	—	159名(H30)	達成見込
2. 離島における新規就農者数(累計)	1,069人	78人(H22)	966人(H30)	達成見込
3. 離島における工芸産業従事者数(累計)	440人	415人(H22年度)	398人(H29年度)	進展遅れ

**(1)観光人材育成研修受講者数【達成見込】**  
 企業が行うスキルアップや語学の研修に対して、講師派遣の支援を行っている。平成30年度には、研修実施の自走化を図る観点から費用の助成率を8割から7割に変更したことや、観光客増加に伴う、人手不足等から、受講者数は、平成29年度の226名から159名に減少している。

政策ツール	
-------	--

主な予算事業

P592

事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
観光人材育成の支援 (H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	478百万円 (381百万円)	国際観光地としての沖縄の評価の向上を目指し、国内外の観光客が満足する質の高いサービスを提供できる人材を育成・確保するため、観光人材育成に関する研修事業を行う民間企業等の自主的な取組に対し支援を行う	【H30年度目標】 ・企業研修及び集合型研修の受講者に対し、研修の効果があつたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方をアンケートによって検証する。 ・就職相談会に起因する採用人数:20人	【H30年度実績】 アンケート結果(研修の効果があつたか):94.8%  就職相談会に起因する採用人数:49名	達成

**(2)離島における新規就農者数(累計)**

調整中  
(他部会)

P592

地域通訳案内士育成等事業 (H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	186百万円 (148百万円)	地域通訳案内士の育成を行うほか、地域通訳案内士の有資格者に対するスキルアップ研修や旅行会社等とのマッチングを行う	【H30年度目標】 研修又はマッチング会終了後に、参加者が新たに就業した人数 25名	【H30年度実績】 研修又はマッチング会終了後に、参加者が新たに就業した人数 26名	達成
---	---------------	--------------------	--	---	---	----

**(3)離島における工芸産業従事者数(累計)**

調整中  
(他部会)

未来のIT人材創出促進事業(ITジュニア育成事業) (H24～R3) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金 県単事業	223百万円 (162百万円)	離島地域の小中学生に対する情報通信関連の教育を実施することにより、将来の情報通信関連産業を担う人材を育成する	【H30年度目標】 IT教育の機会提供(出前講座や企業訪問等):10回	【H30年度実績】 IT教育の機会提供(出前講座や企業訪問等):10回	達成
--	-----------------------	--------------------	--	--	--	----

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(12) 離島の特色を生かした産業振興と新たな展開
施策展開番号・名称	3-(12)-エ 離島を支える多様な人材の育成・確保

政策ツール							背景・要因の分析
<b>主な予算事業</b>							
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
新規就農一貫支援事業 (H24～R3) (農林水産部)	県事業 ソフト交付金	百万円 (百万円)	就農相談等に対応する人材の配置や技術向上を図る研修施設の整備や研修受入体制の強化を行うとともに、就農5年未満の新規就農者等に対する農業用機械等の助成支援を行う	【H30年度目標】 新規就農者の育成・確保:300名以上	【H30年度実績】		
工芸産業における後継者等人材の育成 (H24～R3) (商工労働部)	県単事業	8百万円 (百万円)	従事者の確保及び育成を図ることを目的に各産地が行う後継者育成事業に対する補助を行う。また、宮古上布及び八重山上布・ミンサーの生産技術習得のため、染色技術、製織技術研修を行う	【H30年度目標】 後継者育成補助組合数(離島地区):2組合	【H30年度実績】 後継者育成補助組合数(離島地区):2組合	達 成	
地域づくり推進事業 (H24～R3) (企画部)	県単事業	17百万円 (0百万円)	地域づくり事例の収集及び地域づくり人材の発掘を行うとともに、沖縄県内の地域づくりの中核的役割を担う人材が、地理的条件に左右されずに情報・意見交換できるようICT(情報通信技術)を活用した情報発信を行う	【H30年度目標】 研修会等参加延べ人数:300人	【H30年度実績】 研修会等参加延べ人数:362人	達 成	
中小企業総合支援事業・離島地域等中小企業支援業務 (H24～R3) (商工労働部)	県単事業	500百万円 (百万円)	離島地域等の産業活性化のため、商工会及び役場等と連携し、各地域のニーズに即したテーマによる出前講座や個別相談会を開催する	【H30年度目標】 セミナー開催件数:4回	【H30年度実績】 セミナー開催件数:6回	達 成	
緊急委託訓練事業 (H14～ ) (商工労働部)	県事業 各省補助	140百万円 (140百万円)	宮古・八重山地域において、就職を希望する離転職者のうち、職業能力の開発を必要とする者に対して企業等の民間教育訓練機関を活用した職業訓練を行うことにより、早期就職を支援する	【H30年度目標】 緊急委託訓練修了者の就職率:75%	【H30年度実績】 緊急委託訓練修了者の就職率:92.5%	達 成	

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(12) 離島の特色を生かした産業振興と新たな展開
施策展開番号・名称	3-(12)-エ 離島を支える多様な人材の育成・確保

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

### 主な予算事業

事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
南大東村多目的交流拠点整備事業(H25～H29) (南大東村)	市町村事業 ソフト交付金	847百万円 (675百万円)	村民交流、伝統文化継承や人材育成、農漁村を中心とした各種研修をはじめ、観光客との交流を図るとともに、災害時には村民及び観光客の避難施設として活用するため、多目的拠点施設を整備する。	【H29年度目標】 多目的施設の供用開始	【H29年度実績】 多目的施設の供用開始	達成

### 税制等

軽減措置の名称	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(R3年度)	実績値	達成状況

### 努力義務・配慮義務・特例措置

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	IV 世界に開かれた交流と共生の島
基本施策番号・名称	4-(1) 世界との交流ネットワークの形成
施策展開番号・名称	4-(1)-ア 国際ネットワークの形成と多様な交流の推進

成果指標						背景・要因の分析
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	<p>(1)次世代ウチナーネットワーク参加青少年数(累計) 【達成見込】 ウチナーネットワーク参加青少年数は平成30年度は1,630人と計画値を上回っており、県が実施する交流事業等を通して参加者のネットワーク構築が着実に進んでいることから、R3年度の目標値を達成する見込みである。</p> <p>(2)次世代ウチナーネットワーク参加者とのネットワークの継続 【進展】 平成30年度は、次世代ウチナーネットワーク参加者1,680人の内、連絡が取れるネットワークのある参加者が628人おり、率で38.5%となり計画値を上回っている。県が実施する交流事業等を通して参加者のデータを蓄積・更新し、ネットワーク構築が着実に進んでいることから、R3年度の目標値に向けて進展している。</p> <p>(3)世界のウチナーンチュ大会イベント参加者数(延べ人数) 【進展遅れ】 平成28年度の第6回大会の実績値は429,168人で、令和3年度の目標値の達成に向けては、一般県民向けの広報等の取組を充実させることから、R3年度の目標値を達成する見込みである。</p>
P617	1. 次世代ウチナーネットワーク参加青少年数(累計)	1,706人	1,176人(H23年度)	1,630人	達成見込	
P617	2. 次世代ウチナーネットワーク参加者とのネットワークの継続	50.0%	14.8%(H23年度)	38.5%	進展	
P617	3. 世界のウチナーンチュ大会イベント参加者数(延べ人数)	450,000人 (33年度予定) (第7回大会)	418,030人 (H23年度) (第5回大会)	429,168人 (H28年度)	進展遅れ	
記載なし	4. 世界のウチナーンチュ大会の関与の県内市町村数	37市町村 (33年度予定) (第7回大会)	30市町村 (H23年度) (第5回大会)	30市町村 (H28年度)	進展遅れ	
P617	5. 外国人観光客数	400.0万人	30.1万人 (H23年度)	300万人	進展遅れ	
政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
P615	ウチナーネットワークの強化推進 (H24~R3) (文化観光スポーツ部)	00百万円 (00百万円)	10月30日「世界のウチナーンチュの日」を世界中で沖縄の風土や伝統文化等に想いを馳せる象徴的な日として定着させる様々な取組を実施	【H30年度目標】 県人会35団体、県内19団体(市町村を含む)	【H30年度実績】 県人会12団体、県内20団体(市町村を含む)	未達成
P616	沖縄観光国際化ビッグバン事業 (H24~R3) (文化観光スポーツ部)	145,933百万円 (116,455百万円)	外国人観光客数の誘致強化のため、「国際旅客ハブ」化の促進、チャーター便の就航、新規路線の就航、既存便の増便・大型化、トランジット等の交通ネットワーク拡大を促すとともに、広告プロモーション、旅行博覧会への出展、沖縄観光セミナーなどの事業を実施	【H30年度目標】 ・新規路線就航数(海外) 1路線 ・欧米、東南アジアからの観光客数 16万人 ・台湾、韓国、中国、香港からの観光客数 148万人	【H30年度実績】 ・新規路線就航数(海外) 2路線 ・欧米、東南アジアからの観光客数 60万人 ・台湾、韓国、中国、香港からの観光客数 240万人	達成
P616	クルーズ船プロモーション事業 (H24~R3) (文化観光スポーツ部)	35,270百万円 (28,145百万円)	国内外のクルーズ船社への誘致活動や旅行会社等と連携した商品造成支援等を行うとともに、受入体制を強化し、クルーズ船の寄港促進を図る	【H30年度目標】 ・クルーズ船寄港回数 662回/年	【H30年度実績】 ・クルーズ船寄港回数 528回/年	概ね達成

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	IV 世界に開かれた交流と共生の島
基本施策番号・名称	4-(1) 世界との交流ネットワークの形成
施策展開番号・名称	4-(1)-ア 国際ネットワークの形成と多様な交流の推進

政策ツール							背景・要因の分析																												
<b>主な予算事業</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名 (事業年度)</th> <th>事業の種類</th> <th>事業費 (うち国費)</th> <th>事業の概要</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沖縄県高校生海外雄飛プロジェクト(H24~R3) (教育庁)</td> <td>県事業 ソフト交付金</td> <td>49百万円 (32百万円)</td> <td>沖縄とハワイ双方向において将来の展望等について、共に学び考える機会を設けることで、自国と他国の歴史や文化を尊重できる国際社会に貢献する人材の育成を図る</td> <td>【H30年度目標】 高校生受入数 25人 高校生派遣数 25人</td> <td>【H30年度実績】 高校生受入数 13人 高校生派遣数 25人</td> <td>概ね達成</td> </tr> <tr> <td>アジア・ビジネス・ネットワーク事業(H28~R3) (商工労働部)</td> <td>県事業 ソフト交付金</td> <td>94百万円 (75百万円)</td> <td>海外企業が投資や立地を検討する際に必要となる情報について、ワンストップでサポートする窓口を設置</td> <td>【H30年度目標】 県内への投資を検討するに至った企業数 12社</td> <td>【H30年度実績】 県内への投資を検討するに至った企業数 18社 (相談件数103件)</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>海外移住者子弟の研修受入(H24~R3) (複数市町村)</td> <td>市町村事業 ソフト交付金</td> <td>36百万円 (27百万円)</td> <td>海外移住者子弟を研修生として受入、交流を行うとともに、相互の歴史や文化を学習させる。</td> <td>海外移住者子弟受入人数、研修後のアンケート実施による研修評価</td> <td>【H24~H29年度実績】 達成市町村の割合88%</td> <td>概ね達成</td> </tr> </tbody> </table>							事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	沖縄県高校生海外雄飛プロジェクト(H24~R3) (教育庁)	県事業 ソフト交付金	49百万円 (32百万円)	沖縄とハワイ双方向において将来の展望等について、共に学び考える機会を設けることで、自国と他国の歴史や文化を尊重できる国際社会に貢献する人材の育成を図る	【H30年度目標】 高校生受入数 25人 高校生派遣数 25人	【H30年度実績】 高校生受入数 13人 高校生派遣数 25人	概ね達成	アジア・ビジネス・ネットワーク事業(H28~R3) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	94百万円 (75百万円)	海外企業が投資や立地を検討する際に必要となる情報について、ワンストップでサポートする窓口を設置	【H30年度目標】 県内への投資を検討するに至った企業数 12社	【H30年度実績】 県内への投資を検討するに至った企業数 18社 (相談件数103件)	達成	海外移住者子弟の研修受入(H24~R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	36百万円 (27百万円)	海外移住者子弟を研修生として受入、交流を行うとともに、相互の歴史や文化を学習させる。	海外移住者子弟受入人数、研修後のアンケート実施による研修評価	【H24~H29年度実績】 達成市町村の割合88%	概ね達成	<p>(4)世界のウチナーンチュ大会の関与の県内市町村数 <b>【進展遅れ】</b> 県系移民の出身地でない離島地域については、移民関係の取組について希薄であることが理由で関与の市町村数の進展が遅れている。</p> <p>(5)外国人観光客数 <b>【進展遅れ】</b> 沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」のもと実施している官民一体となったプロモーションの成果として、台湾や韓国等の東アジアに加え、タイやシンガポール等の東南アジアからの新規就航が実現し、空路での入域客は順調に推移している。また、クルーズ船社への誘致活動や受入態勢強化により、海路の入客数も順調に推移している。</p>
事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況																													
沖縄県高校生海外雄飛プロジェクト(H24~R3) (教育庁)	県事業 ソフト交付金	49百万円 (32百万円)	沖縄とハワイ双方向において将来の展望等について、共に学び考える機会を設けることで、自国と他国の歴史や文化を尊重できる国際社会に貢献する人材の育成を図る	【H30年度目標】 高校生受入数 25人 高校生派遣数 25人	【H30年度実績】 高校生受入数 13人 高校生派遣数 25人	概ね達成																													
アジア・ビジネス・ネットワーク事業(H28~R3) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	94百万円 (75百万円)	海外企業が投資や立地を検討する際に必要となる情報について、ワンストップでサポートする窓口を設置	【H30年度目標】 県内への投資を検討するに至った企業数 12社	【H30年度実績】 県内への投資を検討するに至った企業数 18社 (相談件数103件)	達成																													
海外移住者子弟の研修受入(H24~R3) (複数市町村)	市町村事業 ソフト交付金	36百万円 (27百万円)	海外移住者子弟を研修生として受入、交流を行うとともに、相互の歴史や文化を学習させる。	海外移住者子弟受入人数、研修後のアンケート実施による研修評価	【H24~H29年度実績】 達成市町村の割合88%	概ね達成																													
<b>努力義務・配慮義務・特例措置</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>沖振法条文番号・見出し</th> <th>実施主体</th> <th>成果(例)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)																										
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)																																	

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	IV 世界に開かれた交流と共生の島
基本施策番号・名称	4-(1) 世界との交流ネットワークの形成
施策展開番号・名称	4-(1)-イ 世界と共生する社会の形成

記載なし  
記載なし  
P619

成果指標						背景・要因の分析
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	<p>(1)海外留学・交流派遣数(累計) <b>【達成見込】</b> 国際性に富む人材育成留学事業、海外サイエンス体験短期研修(グローバル・リーダー育成海外短期研修)、沖縄県高校生海外雄飛プロジェクトにおける海外留学・交流派遣数については順調に実施されており、事業の目標達成および令和3年度の成果目標は達成できる見込みである。</p> <p>(2)沖縄県にずっと住み続けたい在住外国人等の割合 <b>【進展遅れ】</b> 住みたくない理由としては「母国の家族と暮らしたい」「いい仕事がない」「親しい人がいない」「家族や子育ての環境」などの理由が上位に挙げられていることから、在住外国人の労働環境の改善やコミュニケーション、生活支援等にかかる支援事業をより実施するとともに、アンケート調査方法について変更があったため、今後は変更後の調査方法を実施し、目標値の達成に取り組む。</p> <p>(3)沖縄文化に関わる活動を行っている在住外国人等の割合 <b>【進展遅れ】</b> 進展遅れになっているものの、別項目において、「地域住民と交流したい」や「日本や地元文化を学びたい」人の割合は半数以上いることから、在住外国人と地域住民が協働して地域づくりや文化交流を行うことができる機会の創出を促進するとともに、アンケート調査方法について変更があったため、今後は変更後の調査方法を実施し、目標値の達成に取り組む。</p>
1.	海外留学・交流派遣数(累計)	2,944人	124人(H23年度)	2,325人(H30年度)	達成見込	
2.	沖縄県にずっと住み続けたい在住外国人等の割合	80.0%	69%(H20年度)	64.3%(H29年度)	進展遅れ	
3.	沖縄文化に関わる活動を行っている在住外国人等の割合	32.0%	22%(H20年度)	23.7%(H29年度)	進展遅れ	
4.	病院での診療時に医師との対話で困った在住外国人等の割合	12.0%	22%(H20年度)	28.4%(H29年度)	進展遅れ	
政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
外国青年招致事業(H24~R3)(教育庁)	県単事業	1,513百万円(百万円)	外国語教育の充実・改善を図ると共に、地域レベルの交流推進を図ることを通じて諸外国との相互理解を深め、国際化を推進するために、外国語指導助手(ALT)を全ての県立学校へ配置、または訪問の実施	【H30年度目標】 配置人数 49人	【H30年度実績】 配置人数 50人	達成
国際性に富む人材育成留学事業(H24~R3)(教育庁)	県事業 ソフト交付金	1,175百万円(940百万円)	国際性と個性を涵養し、グローバルに活躍できる人材の育成を図るため、高校生をアメリカ、欧州、アジア、オセアニア、南米諸国へ約1年間派遣を実施	【H30年度目標】 留学派遣者数 80人	【H30年度実績】 留学派遣者数 85人	達成
海外サイエンス体験短期研修(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3)(教育庁)	県事業 ソフト交付金	86百万円(69百万円)	グローバルな視点を持った世界で主体的に活躍できるリーダーを育成する基礎作りを図るため、海外で研究機関等の訪問、現地高校・大学等での授業参加などを通して理系分野の人材育成の基礎作りを図る	【H30年度目標】 派遣者数 25人	【H30年度実績】 派遣者数 20人	概ね達成
沖縄県高校生海外雄飛プロジェクト(H24~R3)(教育庁)	県事業 ソフト交付金	49百万円(32百万円)	沖縄とハワイ双方向において将来の展望等について、共に学び考える機会を設けることで、自国と他国の歴史や文化を真に尊重できる国際社会に貢献する人材の育成を図る	【H30年度目標】 受入数 25人 派遣数 25人	【H30年度実績】 受入数 25人 派遣数 25人	概ね達成

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	IV 世界に開かれた交流と共生の島
基本施策番号・名称	4-(1) 世界との交流ネットワークの形成
施策展開番号・名称	4-(1)-イ 世界と共生する社会の形成

政策ツール							背景・要因の分析
<b>主な予算事業</b>							<p>(4)病院での診療時に医師との対話で困った在住外国人等の割合【進展遅れ】</p> <p>進展遅れの要因としては、基準値年と比べて在住外国人が倍近く増加しており、国籍も多様化していることが挙げられる。このため医療通訳ボランティア等傷病患者等の対応が可能な人材の育成を促進することにより、目標値の達成に向けて取り組む。</p>
事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
P618 P619 多文化共生社会に対する県民向け取組(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業	百万円 (百万円)	在住外国人等を対象としたアンケート調査を実施し、県内の実情を調査するとともに、シンポジウムを実施	—	—	—	
医療通訳ボランティアの利用普及(H24～R3) (教育庁)	—	百万円 (百万円)	在住外国人との共生社会に向けた環境整備の一助として、在住外国人のために医療通訳ボランティアを育成する養成講座、ステップアップ講座を実施	—	—	—	
案内表示の充実強化(道路案内標識等) (H25～R3) (土木建築部)	ハード交付金	1,464百万円 (1,171百万円)	道路案内標識の適切な設置および修繕・更新を行うとともに県内の主要な地名を示す目標地や主要な観光地を示す著名地点等をローマ字、英語を併記することで外国人観光客等の道路利用者に対してわかりやすい情報提供を実施	【H30年度目標】 案内標識の設置・更新・修繕 12基	【H30年度実績】 案内標識の設置・更新・修繕 74基	達成	
P618 国際協力レポーター事業(おきなわ国際協育人材育成事業) (H25～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	264百万円 (211百万円)	県内高校生を、アジアの開発途上国に派遣し、国際協力・貢献活動の現場視察及び現地の人々との交流を行う。あわせて、ホームページやSNSでの情報発信や、マスコミ報道、ラジオ出演を通じて、国際協力・貢献活動の推進に積極的に取り組む沖縄県の姿を発信する	【H30年度目標】 派遣数: 39人	【H30年度実績】 派遣数: 32人	概ね順調	
P618 国際協力理解促進事業(おきなわ国際協育人材育成事業) (H25～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	264百万円 (211百万円)	国際協力活動の専門家やレポーター事業参加者などが県内の中学校・高校で国際協力に関する出前講座や体験発表を行い、国際協力への取組やその重要性を紹介し、グローバルな視点を持った人材育成を図る	【H30年度目標】 派遣校数: 20校	【H30年度実績】 派遣校数: 21校	達成	

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	IV 世界に開かれた交流と共生の島
基本施策番号・名称	4-(1) 世界との交流ネットワークの形成
施策展開番号・名称	4-(1)-イ 世界と共生する社会の形成

政策ツール			背景・要因の分析
努力義務・配慮義務・特例措置			
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)	

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	4 世界に開かれた交流と共生の島を目指して
基本施策番号・名称	4-(1) 世界との交流ネットワークの形成
施策展開番号・名称	4-(1)-ウ 国際交流拠点の形成に向けた基盤の整備

成果指標						背景・要因の分析	
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況			
P355	1. 那覇空港の海外路線数 (就航都市数)	15路線	7路線 (H24年)	14路線 (H30年度)	達成見込み		
P621	2. クルーズ船寄港回数・海路による入域観光客数(県全体)	933回 2,000,000人	112回 116,400人 (H23年)	528回 1,123,800人 (H30年度)	進展		
記載なし	3. 1,000人以上のMICE開催件数	134件	85件 (H28年度)	85件 (H30年度)	進展遅れ		
政策ツール						<p>(1) 那覇空港の海外路線数 (就航都市数) <b>達成見込み</b></p> <p>(2) クルーズ船寄港回数・海路による入域観光客数(県全体) <b>進展</b></p> <p>石垣港、平良港の整備の実施については、国において、大型旅客船ターミナル整備事業や国際旅客船拠点形成港湾として、岸壁等の整備を進めている。 本部港の整備について、「官民連携による国際クルーズ拠点」に選定されているが、ファーストポート対応に必要なCIQ機能の確保について、検疫を所管する厚生労働省との調整が整っていない。 今後は国や市に対し引き続き岸壁の整備要望を行うなど、事業の促進を図るとともに、国の関係機関と調整を図ることで事業を推進する。</p> <p>(2) 1,000人以上のMICE開催件数 <b>【進展遅れ】</b> 展示会・イベントやインセンティブ旅行は前年より増加したが、大人数の受入が出来る施設が限られ、県内最大のMICE施設である沖縄コンベンションセンターも稼働率が高いことから、大型催事は頭打ちの状況となっている。</p>	
主な予算事業							
事業・取組 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値		達成状況
那覇空港の滑走路増設整備 (H25年度～R1年度) (企画部国土交通省)	国直轄	(国で記載)	(国で記載)	(国で記載)	(国で記載)		順調
那覇空港旅客ターミナルビルの整備 (H28年度～R2年度) (企画部)	民間事業 国直轄	20,912百万円 (364百万円)	国際線および国内線の旅客ターミナルを連結する施設の整備とCIQおよび周辺施設の増築を実施	【H30年度】 際内連結ターミナル施設の供用開始 CIQ施設増築工事の着工	【H30年度実績】 ・ 際内連結ターミナル施設の供用開始 ・ CIQ施設増築工事の着工		順調
離島拠点空港の国際線受入体制の整備 (H27年度～R3年度) (土木建築部)	各省計上  県事業 ソフト交付金	556百万円 (501百万円)  476百万円 (379百万円)	新石垣空港や宮古圏域の空港の国際線旅客ターミナルビルやCIQ施設の整備を実施	【H30年度】 ・ 新石垣空港におけるエプロン拡張部の整備 ・ 新石垣空港国際線旅客施設の増改築工事の実施 ・ 下地島空港ターミナル地区整備の実施	【H30年度実績】 ・ 新石垣空港エプロン拡張部の整備 ・ 新石垣空港の国際線旅客施設の増改築工事が未着工 ・ 下地島空港ターミナル地区の整備完了	やや遅れ	
更なる大型クルーズ船の受入体制の構築 (H〇年度～R〇年度) (土木建築部)	国直轄	0,000,000千円 (0,000,000千円)	泊ふ頭岸壁のコンテナターミナルの岸壁延伸整備、第2クルーズ岸壁等の整備を実施	【H30年度】	【H30年度実績】 ・ 那覇港大型旅客船入出港要領の策定 ・ コンテナターミナルの岸壁延伸工事	順調	

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	4 世界に開かれた交流と共生の島を目指して
基本施策番号・名称	4-(1) 世界との交流ネットワークの形成
施策展開番号・名称	4-(1)-ウ 国際交流拠点の形成に向けた基盤の整備

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							
事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
圏域の拠点港湾(石垣港、平良港、本部港)の整備 (H0年度～R0年度) (土木建築部)	国直轄	0,000,000千円 (0,000,000千円)	大型クルーズ船に対応する岸壁や旅客ターミナルビルの整備、岸壁整備、ふ頭用地、防波堤の整備を実施	【H30年度】	【H30年度実績】 石垣港：岸壁の暫定供用も開始 平良港：耐震強化岸壁等の整備を実施	概ね順調	
圏域の拠点港湾(石垣港、平良港)の整備 (H0年度～R0年度) (土木建築部)	各省計上	0,000,000千円 (0,000,000千円)	大型クルーズ船に対応する岸壁や旅客ターミナルビルの整備、岸壁整備、ふ頭用地、防波堤の整備を実施	【H30年度】	【H30年度実績】 泊地浚渫及び沖防波堤の整備を実施	概ね順調	
P621 大型MICE施設の整備 (H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 (県単、ソフト交付金)	7,164百万円 (174百万円)	施設規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する。	【H30年度】 設計・工事・開業準備に向けた取組	【H30年度実績】 事業推進に向けた関係機関との協議や整備財源の確保策を含む新たな事業計画の策定に向けた調整を行った。	進展遅れ	
平和推進事業(H24～H29) (石垣市)	市町村事業 ソフト交付金	64百万円 (51百万円)	戦争の記憶を風化させないために、次世代を担う児童生徒を対象に、平和について学ぶ機会をつくる	【H29年度】 平和フォーラム参加者数700人、平和大使派遣後、子どもに変化があったと答えた保護者100%	【H29年度実績】 平和フォーラム参加者数700人、平和大使派遣後、子どもに変化があったと答えた保護者100%	達成	

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	IV 世界に開かれた交流と共生の島
基本施策番号・名称	4-(2) 国際協力・貢献活動の推進
施策展開番号・名称	4-(2)-ア アジア・太平洋地域の共通課題に対する技術協力等の推進

成果指標	背景・要因の分析
------	----------

	成果指標	目標値(H33年度)	基準値	実績値	達成状況
P623	1. JICA沖縄の海外研修員受け入れに協力する県内団体数	25団体	8団体(H22)	24団体(H29)	達成見込み
P623	2. JICA沖縄と連携し技術協力に取り組む県内団体数 (海外研修員受入除く)(累計)	23団体	10団体(H22)	23団体(H30)	達成

(1) JICA沖縄の海外研修員受け入れに協力する県内団体数  
**【達成見込み】**  
 JICA沖縄や県の関係機関との意見交換に取り組むなど、研修員受入団体数は、直近の現状値である平成29年度で24団体となっており、着実に増加してきており、目標値を達成する見込みである。また、平成29年度JICA沖縄では、55のコースで384人の技術研修員を受け入れた。沖縄県企業局をはじめ県でも多くの課がJICAの研修に協力しており、国際協力・貢献活動に対する理解が深まっている。

政策ツール
-------

主な予算事業						
事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
水道事業の技術交流・技術協力(H24～R3) (企業局)	県事業 —	—	海外研修員を受け入れ、島嶼地域に適合した水道事業の運営及び水資源の保全に関するノウハウ移転を行う。	—	【H30年度】 海外研修員受入人数 5人	達成
建設産業の技術交流・技術協力(H24～R3) (土木建築部)	県事業 —	—	海外研修員を受け入れ、「道路維持管理」に関して講義と現場視察等を行う。	【H30年度】 海外研修員受入人数 5人	【H30年度】 海外研修員受入人数 11人	達成
P595 P623	海外からの技術研修員の受入れの促進 (H24～R3) (文化観光スポーツ部)	JICA沖縄、県等 —	JICAの研修員受入事業に県として協力するため、JICAと県の連絡協議会等を開催。	—	【H30年度】 受入団体数 19団体	達成
P595 P623	草の根技術協力の促進 (H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 —	草の根技術協力事業を含む、JICA事業と県が協力できる技術的な部分の連携に向け、関係部局との情報共有を行う。	【H30年度】 草の根技術協力に取り組む県内団体数 19団体	【H30年度】 草の根技術協力に取り組む県内団体数 23団体	達成

(2) JICA沖縄と連携し技術協力に取り組む県内団体数  
(海外研修員受入除く)(累計)  
**【達成】**  
 JICA沖縄と県で協力が可能な技術的な分野について具体的な連携に向けて関係部局との情報共有に取り組むなど、草の根技術協力に取り組む県内団体数は順調に増加し、平成30年度は23団体となったことから、目標値は達成している。今後は新たな分野での協力可能性を模索するなど、JICA沖縄と連携する。  
 また、平成26年度からJICA沖縄と連携し、途上国の研修生を対象とした「道路維持管理」に関する講義へ、技術系職員を派遣すると共に、現場視察の受け入れを行っている。研修生の受け入れ人数について、目標を達成している。

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	IV 世界に開かれた交流と共生の島
基本施策番号・名称	4-(2) 国際協力・貢献活動の推進
施策展開番号・名称	4-(2)-ア アジア・太平洋地域の共通課題に対する技術協力等の推進

政策ツール							背景・要因の分析
<b>主な予算事業</b>							
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
<b>努力義務・配慮義務・特例措置</b>							
沖振法条文番号・見出し		実施主体	成果(例)				
			・				
			・				
			・				
			・				

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
施策展開番号・名称	5-(4)-イ 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進

成果指標						背景・要因の分析																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>目標値(R3年度)</th> <th>基準値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 理系大学への進学率</td> <td>20.0%以上</td> <td>13.8%(23年3月卒)</td> <td>18.5%(30年3月卒)</td> <td>達成見込</td> <td rowspan="10">調整中 (他部会)</td> </tr> <tr> <td>2. 科学技術にかかる体験型講座開催数(年間)</td> <td>200件以上</td> <td>44件(23年度)</td> <td>239件</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>3. 県出身日本代表スポーツ選手数(全ての国際大会)</td> <td>33名/年</td> <td>23名/年(24年度)</td> <td>20名/年</td> <td>進展遅れ</td> </tr> <tr> <td>4-1. 全国高等学校体育大会入賞者および入賞者件数(団体)</td> <td>6団体</td> <td>団体:6団体(20年度)</td> <td>団体:4団体</td> <td>進展遅れ</td> </tr> <tr> <td>4-2. 全国高等学校体育大会入賞者および入賞者件数(個人)</td> <td>24人以上</td> <td>個人:23人(20年度)</td> <td>個人:18人</td> <td>進展遅れ</td> </tr> <tr> <td>5-1. 高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(中)</td> <td>13部門/58件</td> <td>12部門/53件(23年度)</td> <td>12部門/72件</td> <td>進展</td> </tr> <tr> <td>5-2. 高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(高)</td> <td>17部門/57件</td> <td>16部門/52件(23年度)</td> <td>18部門/41件</td> <td>進展遅れ</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況		1. 理系大学への進学率	20.0%以上	13.8%(23年3月卒)	18.5%(30年3月卒)	達成見込	調整中 (他部会)	2. 科学技術にかかる体験型講座開催数(年間)	200件以上	44件(23年度)	239件	達成	3. 県出身日本代表スポーツ選手数(全ての国際大会)	33名/年	23名/年(24年度)	20名/年	進展遅れ	4-1. 全国高等学校体育大会入賞者および入賞者件数(団体)	6団体	団体:6団体(20年度)	団体:4団体	進展遅れ	4-2. 全国高等学校体育大会入賞者および入賞者件数(個人)	24人以上	個人:23人(20年度)	個人:18人	進展遅れ	5-1. 高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(中)	13部門/58件	12部門/53件(23年度)	12部門/72件	進展	5-2. 高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(高)	17部門/57件	16部門/52件(23年度)	18部門/41件	進展遅れ	(1)理系大学への進学率								
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況																																																				
1. 理系大学への進学率	20.0%以上	13.8%(23年3月卒)	18.5%(30年3月卒)	達成見込	調整中 (他部会)																																																			
2. 科学技術にかかる体験型講座開催数(年間)	200件以上	44件(23年度)	239件	達成																																																				
3. 県出身日本代表スポーツ選手数(全ての国際大会)	33名/年	23名/年(24年度)	20名/年	進展遅れ																																																				
4-1. 全国高等学校体育大会入賞者および入賞者件数(団体)	6団体	団体:6団体(20年度)	団体:4団体	進展遅れ																																																				
4-2. 全国高等学校体育大会入賞者および入賞者件数(個人)	24人以上	個人:23人(20年度)	個人:18人	進展遅れ																																																				
5-1. 高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(中)	13部門/58件	12部門/53件(23年度)	12部門/72件	進展																																																				
5-2. 高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(高)	17部門/57件	16部門/52件(23年度)	18部門/41件	進展遅れ																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">政策ツール</th> </tr> <tr> <th colspan="7">主な予算事業</th> </tr> <tr> <th>事業・取組 (事業年度)</th> <th>事業の種別</th> <th>事業費 (うち国費)</th> <th>事業の概要</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沖縄科学技術向上事業 (H24~R3) (教育庁)</td> <td>県単事業</td> <td>37百万円</td> <td>科学に対する興味や関心を高めるため、高校生を対象に先端研究機関等へ派遣</td> <td>【平成30年度目標】 先端研究施設への生徒派遣人数:30人</td> <td>【平成30年度実績】 先端研究施設への生徒派遣人数:48人</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>科学技術への興味関心を高める取組 (H24~R3) (企画部)</td> <td>県事業 ソフト交付金</td> <td>386百万円 (309百万円)</td> <td>児童を対象とした科学教室の自主開催支援や中学生及び高校生を対象とした科学教育プログラムを実施</td> <td>【平成30年度目標】 出前講座等開催数10回</td> <td>【平成30年度実績】 出前講座等開催数70回</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>海外サイエンス体験短期研修(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3) (教育庁)</td> <td>県事業 ソフト交付金</td> <td>86百万円 (69百万円)</td> <td>カナダ・ブリティッシュコロンビア州へ、高校生を派遣し研究機関等の訪問、現地高校大学等授業参加などを実施</td> <td>【平成30年度目標】 派遣数:25人</td> <td>【平成30年度実績】 派遣数:20人</td> <td>概ね達成</td> </tr> <tr> <td>国民体育大会等派遣事業(H24~R3) (文化観光スポーツ部)</td> <td>県単事業</td> <td>749百万円</td> <td>都道府県対抗で実施する国民体育大会の本大会、冬季大会に選手・監督を派遣する。また、国民体育大会の予選大会である九州ブロック大会に選手を派遣</td> <td>【平成30年度目標】 国民体育大会選手派遣人数:300人</td> <td>【平成30年度実績】 国民体育大会選手派遣人数:302人</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>						政策ツール							主な予算事業							事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	沖縄科学技術向上事業 (H24~R3) (教育庁)	県単事業	37百万円	科学に対する興味や関心を高めるため、高校生を対象に先端研究機関等へ派遣	【平成30年度目標】 先端研究施設への生徒派遣人数:30人	【平成30年度実績】 先端研究施設への生徒派遣人数:48人	達成	科学技術への興味関心を高める取組 (H24~R3) (企画部)	県事業 ソフト交付金	386百万円 (309百万円)	児童を対象とした科学教室の自主開催支援や中学生及び高校生を対象とした科学教育プログラムを実施	【平成30年度目標】 出前講座等開催数10回	【平成30年度実績】 出前講座等開催数70回	達成	海外サイエンス体験短期研修(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3) (教育庁)	県事業 ソフト交付金	86百万円 (69百万円)	カナダ・ブリティッシュコロンビア州へ、高校生を派遣し研究機関等の訪問、現地高校大学等授業参加などを実施	【平成30年度目標】 派遣数:25人	【平成30年度実績】 派遣数:20人	概ね達成	国民体育大会等派遣事業(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	749百万円	都道府県対抗で実施する国民体育大会の本大会、冬季大会に選手・監督を派遣する。また、国民体育大会の予選大会である九州ブロック大会に選手を派遣	【平成30年度目標】 国民体育大会選手派遣人数:300人	【平成30年度実績】 国民体育大会選手派遣人数:302人	達成	(2)科学技術にかかる体験型講座開	
政策ツール																																																								
主な予算事業																																																								
事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況																																																		
沖縄科学技術向上事業 (H24~R3) (教育庁)	県単事業	37百万円	科学に対する興味や関心を高めるため、高校生を対象に先端研究機関等へ派遣	【平成30年度目標】 先端研究施設への生徒派遣人数:30人	【平成30年度実績】 先端研究施設への生徒派遣人数:48人	達成																																																		
科学技術への興味関心を高める取組 (H24~R3) (企画部)	県事業 ソフト交付金	386百万円 (309百万円)	児童を対象とした科学教室の自主開催支援や中学生及び高校生を対象とした科学教育プログラムを実施	【平成30年度目標】 出前講座等開催数10回	【平成30年度実績】 出前講座等開催数70回	達成																																																		
海外サイエンス体験短期研修(グローバル・リーダー育成海外短期研修事業)(H24~R3) (教育庁)	県事業 ソフト交付金	86百万円 (69百万円)	カナダ・ブリティッシュコロンビア州へ、高校生を派遣し研究機関等の訪問、現地高校大学等授業参加などを実施	【平成30年度目標】 派遣数:25人	【平成30年度実績】 派遣数:20人	概ね達成																																																		
国民体育大会等派遣事業(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	749百万円	都道府県対抗で実施する国民体育大会の本大会、冬季大会に選手・監督を派遣する。また、国民体育大会の予選大会である九州ブロック大会に選手を派遣	【平成30年度目標】 国民体育大会選手派遣人数:300人	【平成30年度実績】 国民体育大会選手派遣人数:302人	達成																																																		
						(3)県出身日本代表スポーツ選手権(全ての国際大会) 【進展遅れ】 トップアスリートを育成・強化するため、トップコーチの招聘や指導者研修会を実施するなど、より高度な専門性を有した資質の高い指導者の確保・養成に努めた結果、県出身日本代表選手数は年々増加傾向にあり、進展は遅れているものの、トップアスリートは育成されつつある。																																																		

P648

記載なし

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
施策展開番号・名称	5-(4)-イ 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進

政策ツール							背景・要因の分析																																			
<p>記載なし</p> <p>主な予算事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名 (事業年度)</th> <th>事業の種別</th> <th>事業費 (うち国費)</th> <th>事業の概要</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沖縄県体育協会活動費補助(H24～R3) (文化観光スポーツ部)</td> <td>県単事業</td> <td>615百万円</td> <td>県内競技団体を統轄する公益財団法人沖縄県体育協会が競技力向上対策、スポーツ少年団育成、県民体育大会の開催等を円滑におこなえるよう、協会に対して運営支援する</td> <td>【平成30年度目標】 県民体育大会参加人数：9,600人 スポーツ少年団の育成：-</td> <td>【平成30年度実績】 県民体育大会参加人数：9,675人 スポーツ少年団の育成：12,693人</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>南部九州全国高等学校総合体育大会開催推進事業(H27～R1) (教育庁)</td> <td>県単事業</td> <td>292百万円</td> <td>令和元年度全国高等学校総合体育大会(南部九州ブロック)本県開催に向けた準備業務を実施</td> <td>【平成30年度目標】 令和元年度大会開催に向けた準備業務の推進：-</td> <td>【平成30年度実績】 令和元年度大会開催に向けた準備業務の推進：48回</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>青少年文化活動事業費(H24～R3) (教育庁)</td> <td>県単事業</td> <td>74百万円</td> <td>県高等学校文化連盟等が行う全国高総文祭等への派遣費助成に対する補助等を実施</td> <td>【平成30年度目標】 県外派遣数(県高文連による大会派遣)：700人</td> <td>【平成30年度実績】 県外派遣数(県高文連による大会派遣)：1078人</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>こども科学力育成事業(H24～R3) (沖縄市)</td> <td>市町村事業 ソフト交付金</td> <td>173百万円 (122百万円)</td> <td>こども達が科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学企画展、体験イベント、ワークショップ、出前講座の実施</td> <td>【H29年度目標】 ・科学力育成事業参加者数：16,200人 ・出前科学教室参加者数：4,000人</td> <td>【H29年度実績】 ・科学力育成事業参加者数：21,578人 ・出前科学教室参加者数：5,254人</td> <td>達成</td> </tr> </tbody> </table>							事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	沖縄県体育協会活動費補助(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	615百万円	県内競技団体を統轄する公益財団法人沖縄県体育協会が競技力向上対策、スポーツ少年団育成、県民体育大会の開催等を円滑におこなえるよう、協会に対して運営支援する	【平成30年度目標】 県民体育大会参加人数：9,600人 スポーツ少年団の育成：-	【平成30年度実績】 県民体育大会参加人数：9,675人 スポーツ少年団の育成：12,693人	達成	南部九州全国高等学校総合体育大会開催推進事業(H27～R1) (教育庁)	県単事業	292百万円	令和元年度全国高等学校総合体育大会(南部九州ブロック)本県開催に向けた準備業務を実施	【平成30年度目標】 令和元年度大会開催に向けた準備業務の推進：-	【平成30年度実績】 令和元年度大会開催に向けた準備業務の推進：48回	達成	青少年文化活動事業費(H24～R3) (教育庁)	県単事業	74百万円	県高等学校文化連盟等が行う全国高総文祭等への派遣費助成に対する補助等を実施	【平成30年度目標】 県外派遣数(県高文連による大会派遣)：700人	【平成30年度実績】 県外派遣数(県高文連による大会派遣)：1078人	達成	こども科学力育成事業(H24～R3) (沖縄市)	市町村事業 ソフト交付金	173百万円 (122百万円)	こども達が科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学企画展、体験イベント、ワークショップ、出前講座の実施	【H29年度目標】 ・科学力育成事業参加者数：16,200人 ・出前科学教室参加者数：4,000人	【H29年度実績】 ・科学力育成事業参加者数：21,578人 ・出前科学教室参加者数：5,254人	達成	<p>(4-1. 4-2)国高等学校体育大会入賞者及び入賞件数(団体)(個人)</p> <p>調整中 (他部会)</p> <p>(5-1)高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(中)</p> <p>調整中 (他部会)</p> <p>(5-2)高文祭等全国・九州大会上位入賞部門数、入賞件数(高)</p> <p>調整中 (他部会)</p>
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況																																				
沖縄県体育協会活動費補助(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	県単事業	615百万円	県内競技団体を統轄する公益財団法人沖縄県体育協会が競技力向上対策、スポーツ少年団育成、県民体育大会の開催等を円滑におこなえるよう、協会に対して運営支援する	【平成30年度目標】 県民体育大会参加人数：9,600人 スポーツ少年団の育成：-	【平成30年度実績】 県民体育大会参加人数：9,675人 スポーツ少年団の育成：12,693人	達成																																				
南部九州全国高等学校総合体育大会開催推進事業(H27～R1) (教育庁)	県単事業	292百万円	令和元年度全国高等学校総合体育大会(南部九州ブロック)本県開催に向けた準備業務を実施	【平成30年度目標】 令和元年度大会開催に向けた準備業務の推進：-	【平成30年度実績】 令和元年度大会開催に向けた準備業務の推進：48回	達成																																				
青少年文化活動事業費(H24～R3) (教育庁)	県単事業	74百万円	県高等学校文化連盟等が行う全国高総文祭等への派遣費助成に対する補助等を実施	【平成30年度目標】 県外派遣数(県高文連による大会派遣)：700人	【平成30年度実績】 県外派遣数(県高文連による大会派遣)：1078人	達成																																				
こども科学力育成事業(H24～R3) (沖縄市)	市町村事業 ソフト交付金	173百万円 (122百万円)	こども達が科学の面白さや学ぶことの楽しさを体験する科学企画展、体験イベント、ワークショップ、出前講座の実施	【H29年度目標】 ・科学力育成事業参加者数：16,200人 ・出前科学教室参加者数：4,000人	【H29年度実績】 ・科学力育成事業参加者数：21,578人 ・出前科学教室参加者数：5,254人	達成																																				

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
施策展開番号・名称	5-(4)-イ 能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進

政策ツール	背景・要因の分析

## 努力義務・配慮義務・特例措置

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
施策展開番号・名称	5-(4)-ウ 優れた人材を育み地域の発展に寄与する高等教育の推進

## 成果指標

P650

P650

成果指標	目標値(H33年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 看護大卒業率(4年次在籍者数における卒業生数の割合)	100%	92.8%(H23)	96.3%(H30)	進展遅れ
2. 県立芸術大学卒業生数(累計)	4,053人	2,809人(H23)	3,754人(H30)	達成見込み
3. 県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む)	65%	58%(H23)	67.3%(H30)	達成
4. 公開講座の参加者数	100人/年	—	330人/年	達成

## 背景・要因の分析

(1)看護大卒業率(4年次在籍者数における卒業生数の割合)

調整中  
(他部会)

(2)県立芸術大学卒業生数(累計)  
美術・工芸、音楽・芸能などの伝統芸術の継承と発展や、新たな芸術創造に繋がる人材の育成に取り組んでおり、中でも琉球芸能専攻琉球舞踊組踊コースを卒業した多くの学生が、国指定重要無形文化財「組踊」の伝承者として指定され活躍している。平成30年度県立芸術大学卒業生数(累計)は、3,754名となり目標値(R3)を達成する見込みである。

(3)県立芸術大学卒業者の就職率(起業含む)  
県立芸術大学において、芸術活動の継続を希望する卒業・終了生に対して、共同研究員などの大学のインキュベート機能を周知するなどの取組により、目標値(65%)を、2.3ポイント上回る67.3%となり目標を達成している。卒業生の主な就職先は、伝統工芸、伝統芸能方面のほか、広告、印刷、ウェブコンテンツ制作、演奏家、音響関係など学習した技術・技能を活かせる業種が中心となっている。

## 政策ツール

### 主な予算事業

P649

P649

P357

事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
県立看護大学運営・施設整備(H24~R3) (保健医療部)	県事業 県単独		高等教育機関として県立看護大学を運営し、本県の保健医療の向上に貢献する看護師、保健師、助産師の育成を図る。	【H30年度】 看護師国家試験合格率 100%	【H30年度】 看護師国家試験合格率 97.4%	達成
県立芸術大学運営・施設整備(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 県単独	507百万円	独自の理念を掲げた大学運営を尊重しつつ、ニーズに対応した特色ある教育研究を促進する。	【H30年度】 県立芸術大学卒業生数(累計) 4,053人	【H30年度】 県立芸術大学卒業生数(累計) 3,754人	達成見込み
教育研究事業費(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 県単独	1,149百万円	沖縄県立芸術大学において、カリキュラムに沿った授業等の教育活動の実施、及び教員による研究活動を推進する。	【H30年度】 県立芸術大学卒業生数(累計) 4,053人	【H30年度】 県立芸術大学卒業生数(累計) 3,754人	達成見込み
県立芸大インキュベート機能強化支援事業(H24~R3) (文化観光スポーツ部)	県事業 県単独		一定の要件を満たし、研究活動の継続を希望する卒業生を共同研究員として受入れ、研究活動を支援。また、自らの進路をデザインするカリキュラムを設置。	【H30年度】 附属研究所共同研究員としての卒業生受入れ	【H30年度】 附属研究所共同研究員受入れ人数 29人	達成
県立看護大学における地域貢献(H24~R3) (保健医療部)	県事業 県単独		一般県民を対象とした出前講座、公開講座等の実施。	【H30年度】 一般県民を対象とした出前講座等の実施	【H30年度】 一般県民を対象とした出前講座等の実施回数 31回	達成

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(4) 国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
施策展開番号・名称	5-(4)-ウ 優れた人材を育み地域の発展に寄与する高等教育の推進

政策ツール							背景・要因の分析
主な予算事業							(4)公開講座の参加者数  調整中 (他部会)
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
私立専修学校等運営費等支援(総務部)	県事業 県単独	282,996千円	専修学校・各種学校の教職員の退職金共済掛金、加入者保険料(長期給付掛金)に要する経費へ助成を行うとともに、大学入学資格が付与される専修学校高等課程の経常費を助成する。	私立専修学校等の経常費等に対し助成する。	【H30年度】 ○退職金掛金26校 ○加入者保険料30校 ○経常費補助 大学入学資格付与校(専修学校高等課程2校) 職業実践専門課程を設置する専修学校9校	順調	
努力義務・配慮義務・特例措置							(5)私立専修学校等の経常費等に対する助成  調整中 (他部会)
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)					

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(5) 産業振興を担う人材の育成
施策展開番号・名称	5-(5)-ア 産業振興を担う人材の育成

成果指標	背景・要因の分析
------	----------

	成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
P652	1. 地域通訳案内士登録者数(累計) ※基準年及び現状は旧制度の「地域限定通訳案内士」と「沖縄特例通訳案内士」の登録者数合計	700名以上	98名(H23)	687名(H30)	達成見込
記載なし	2. 観光人材育成研修受講者数	1,900名以上	1,742名(H24)	1,585名(H30)	進展遅れ
	3. IT関連国家資格取得者数(累計)	8,000人	791人(H23)	5,286人(H30)	進展

(1)地域通訳案内士登録者数(累計)  
**【達成見込】**  
 ※基準年及び現状は旧制度の「地域限定通訳案内士」と「沖縄特例通訳案内士」の登録者数合計  
 地域通訳案内士育成研修、有資格者に対するスキルアップ研修の他、就業機会の確保支援として旅行者等とのマッチング会に取り組んだ結果、登録者数は基準年から589名増加しており、急増する外国人観光客の受入体制に向けた目標値を達成する見込み。

政策ツール
-------

主な予算事業
--------

事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
P652	観光人材育成の支援(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	478百万円 (381百万円)	質の高い観光サービスを提供できる人材を育成・確保するため、観光人材の育成に取り組む民間企業等に対し支援を行う。	【H30年度】 研修支援件数:100件	【H30年度実績】 研修支援件数:71件 事業所アンケート:96.1%	進 展
P652	地域通訳案内士育成等事業(H24～R3) (文化観光スポーツ部)	186百万円 (148百万円)	地域通訳案内士の育成を行うほか、地域通訳案内士の有資格者に対するスキルアップ研修や旅行会社等とのマッチングを行う	【H30年度目標】 研修又はマッチング会終了後に、参加者が新たに就業した人数 25名	【H30年度実績】 研修又はマッチング会終了後に、参加者が新たに就業した人数 26名	達 成
	高度情報通信産業人材育成(H24～R3) (商工労働部)	833百万円 (666百万円)	県内IT関連産業の振興を担う人材を育成するため、システム開発業務を通じた講座等を実施し、県内ITエンジニア等の知識や技術力の高度化・強化を図る	【H30年度目標】 県内IT人材育成の高度化のための各種人材育成講座受講者数 500人	【H30年度実績】 県内IT人材育成の高度化のための各種人材育成講座受講者数 519人	達 成

(2)観光人材育成研修受講者数  
**【進展遅れ】**  
 講師派遣支援の語学研修、人材研修の延べ受講者数は、1,585人であり、目標値を下回っているが、中核人材を対象とした集合型研修の受講者数を合わせた延べ受講者数は2,262名(H29)となり目標値を上回っている。平成30年度においては、研修実施の自走化に向けた助成割合の引き下げ(8→7割)や、観光客増加による人手不足等により、研修受講者数が減少していると考えられる。

(3)IT関連国家資格取得者数(累計)  
**【進展】**

調整中  
(他部会)

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(5) 産業振興を担う人材の育成
施策展開番号・名称	5-(5)-ア 産業振興を担う人材の育成

政策ツール							背景・要因の分析
<b>主な予算事業</b>							
事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
IT産業就職支援プログラム(H24～R3) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	833百万円 (666百万円)	IT関連資格の取得を支援し、IT業界への就職促進や就業技術者のスキルアップと県内IT企業の業務拡大を図る	【H30年度目標】 IT関連資格取得者数 800名	【H30年度実績】 IT関連資格取得者数 637名	概ね達成	
沖縄デジタルコンテンツ産業人材育成支援(H27～H30) (商工労働部)	県事業 内閣府補助	184百万円 (119百万円)	デジタルコンテンツ業界で必要とされる人材を育成するとともに、デジタルコンテンツ系企業の県内への集積を促進する	【H30年度目標】 支援件数 1件	【H30年度実績】 支援件数 1件	達成	
沖縄ニアショア拠点化の促進(アジア連携開発拠点の形成)(H24～R3) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	150百万円 (120百万円)	県内IT企業とアジアIT企業との連携・協業による双方向のビジネス展開を促進するため、経営者等の人材交流やブリッジ人材の確保・育成を実施した	【H30年度】 ブリッジSEの招へい等で、年度内に発生した県内企業とアジア企業との契約件数 10件	【H30年度実績】 ブリッジSEの招へい等で、年度内に発生した県内企業とアジア企業との契約件数 10件	達成	
<b>税制等</b>							
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(33年度)	実績値(29年度)	達成状況			

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(5) 産業振興を担う人材の育成
施策展開番号・名称	5-(5)-ア 産業振興を担う人材の育成

政策ツール			背景・要因の分析
努力義務・配慮義務・特例措置			
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)	

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(5) 産業振興を担う人材の育成
施策展開番号・名称	5-(5)-ウ 新産業の創出や産業のグローバル化を担う人材の育成

成果指標						背景・要因の分析																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">成果指標</th> <th style="width: 15%;">目標値(R3年度)</th> <th style="width: 15%;">基準値</th> <th style="width: 15%;">実績値</th> <th style="width: 15%;">達成状況</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 起業家育成講座等を行う大学等の数</td> <td>5校</td> <td>0校(H22)</td> <td>3校(H30)</td> <td>進 展</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle; text-align: center;">調整中 (他部会)</td> </tr> <tr style="border: 2px solid red;"> <td>2. スポーツ産業人材育成数(累計)</td> <td>21名</td> <td>5名(H25)</td> <td>18名(H30)</td> <td>達成見込</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況		1. 起業家育成講座等を行う大学等の数	5校	0校(H22)	3校(H30)	進 展	調整中 (他部会)	2. スポーツ産業人材育成数(累計)	21名	5名(H25)	18名(H30)	達成見込	調整中 (他部会)
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況																			
1. 起業家育成講座等を行う大学等の数	5校	0校(H22)	3校(H30)	進 展	調整中 (他部会)																		
2. スポーツ産業人材育成数(累計)	21名	5名(H25)	18名(H30)	達成見込																			
政策ツール																							
<b>主な予算事業</b>																							
事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況																	
イノベーション創出人材育成事業(H30~R2)(商工労働部)	県事業 ソフト交付金	24百万円 (19万円)	起業家マインド(アントレプレナーシップ)を有する人材を継続的に育成・輩出する仕組みの構築を図るとともに、イノベーションの創出を促進する各種支援プログラム等を実施する	【H30年度目標】 新たなベンチャービジネス等の企業・事業化:年間1社(事業)以上	【H30年度実績】 新たなベンチャービジネス等の企業・事業化:2社	達 成																	
中小企業支援センター事業(H24~R3)(商工労働部)	県単事業	500百万円 (百万円)	窓口相談や民間の専門家を活用した経営支援、個別企業の課題に沿った集中支援等、県内中小企業者へのワンストップサービスを実施する	【H30年度目標】 窓口相談件数:2,500件	【H30年度実績】 窓口相談件数:2,944件	達 成																	
スポーツマネジメント人材育成事業(H27~H28)(文化観光スポーツ部)	(H27)各省計上 (H28)県単事業	34百万円 (14百万円)	沖縄の魅力や創造性を活かした、スポーツビジネスを発展・振興する役割を担う人材を育成する	【H28年度目標】 スポーツ産業人材育成数(累計):向上(5名以上)	【H28年度実績】 スポーツ産業人材育成数(累計):18名	達 成																	
文化観光戦略推進事業(H24~R3)(文化観光スポーツ部)	県事業 ソフト交付金	767百万円 (613百万円)	文化資源を活用した観光誘客を推進するため、沖縄文化の要素を取り入れた舞台公演及び沖縄の芸能全般に対する認知度向上に繋がる取組に対して補助を行う	【H30年度目標】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合13.0%	【H30年度実績】 県内における舞台公演(文化資源関連)入場者における観光客の割合 16.2%	達 成																	

P656

P446

(1)起業家育成講座等を行う大学等の数

(2)スポーツ産業人材育成数(累計)  
**【達成見込】**  
 平成24年度から芝管理の専門知識と技術を兼ね備えた人材を育成するための「芝人養成事業」に取り組み、15名を養成した。また、平成27年度から「スポーツマネジメント人材育成事業」において、3人の人材を育成し、スポーツ産業人材育成数は平成28年度で18名となったが、事業が終了したため、目標値の8割程度にとどまっている。

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(5) 産業振興を担う人材の育成
施策展開番号・名称	5-(5)-ウ 新産業の創出や産業のグローバル化を担う人材の育成

政策ツール							背景・要因の分析
<b>主な予算事業</b>							
事業名 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
沖縄らしい風景づくり促進事業(地域 景観の形成を図る 人材の育成) (H24~R3) (土木建築部)	県事業 ソフト交付金	333百万円 (267百万円)	良好な景観創出のための仕組みづくりを目的として、風景・まちなみの再生を先導する地域に根ざした風景づくりリーダー等を育成する	【H30年度目標】 講習修了数:300人	【H30年度実績】 講習修了数:718人	達成	
経済金融活性化特別地区における人材の育成・確保 (H30~R2) (商工労働部)	県事業 ソフト交付金	141百万円 (113百万円)	経済金融活性化特別地区での金融関連産業の更なる集積や高度化・多様化を促進するため、特区内企業就業者向けの人材育成支援や、大学生等の特区内企業への就業を促進する取組を実施する	【【H30年度】 ・講座受講者の金融ビジネス知識が向上したか、アンケートによる回答 80%以上 ・マッチングイベント参加者等の内、特区内企業への就業者の数 2名以上 ・セミナーに参加した就業者の業務に生かせる知識が向上したか、アンケートによる回答 80%以上	【H30年度】 ・講座受講者の金融ビジネス知識が向上したか、アンケートによる回答84% ・マッチングイベント参加者等の内、特区内企業への就業者の数 8名 ・セミナーに参加した就業者の業務に生かせる知識が向上したか、アンケートによる回答 100%	達成	
グローバル産業人材育成事業 (H24~R2) (商工労働部)	県事業 内閣府補助 ソフト交付金	1,078百万円 (1,028百万円) (40百万円)	海外展開に積極的な県内企業等を対象に、国内外OJT派遣、海外専門家等の招聘研修に要する経費に対して補助支援を行う他、海外展開に向けた集合研修(セミナー)を実施する。	【H30年度目標】 海外展開等を牽引する国際性と専門性を得られた(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	【H30年度実績】 海外展開等を牽引する国際性と専門性を得られた、アンケート回答 100%	達成	
沖縄建設産業グローバル化推進事業 (H24~R3) (土木建築部)	県事業 ソフト交付金	百万円 (百万円)	アジア等海外建設市場への参入意欲を擁する数社をモデル企業として、海外工事入札までのプロセスを検証し、沖縄固有の障壁の特定と必要な支援策の検討を行う	【H30年度目標】 ・海外建設工事等への入札・コンペ等への参加企業数:1社 ・海外見本市の選定・参加企業の調査	【H30年度実績】		

# 沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(5) 産業振興を担う人材の育成
施策展開番号・名称	5-(5)-ウ 新産業の創出や産業のグローバル化を担う人材の育成

政策ツール					背景・要因の分析
<b>税制等</b>					
軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(R3年度)	実績値(29年度)	達成状況	
<b>努力義務・配慮義務・特例措置</b>					
沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)			